施工業者様へ　施工時に必ずお読みください。

Robot Home

Ver 1.1

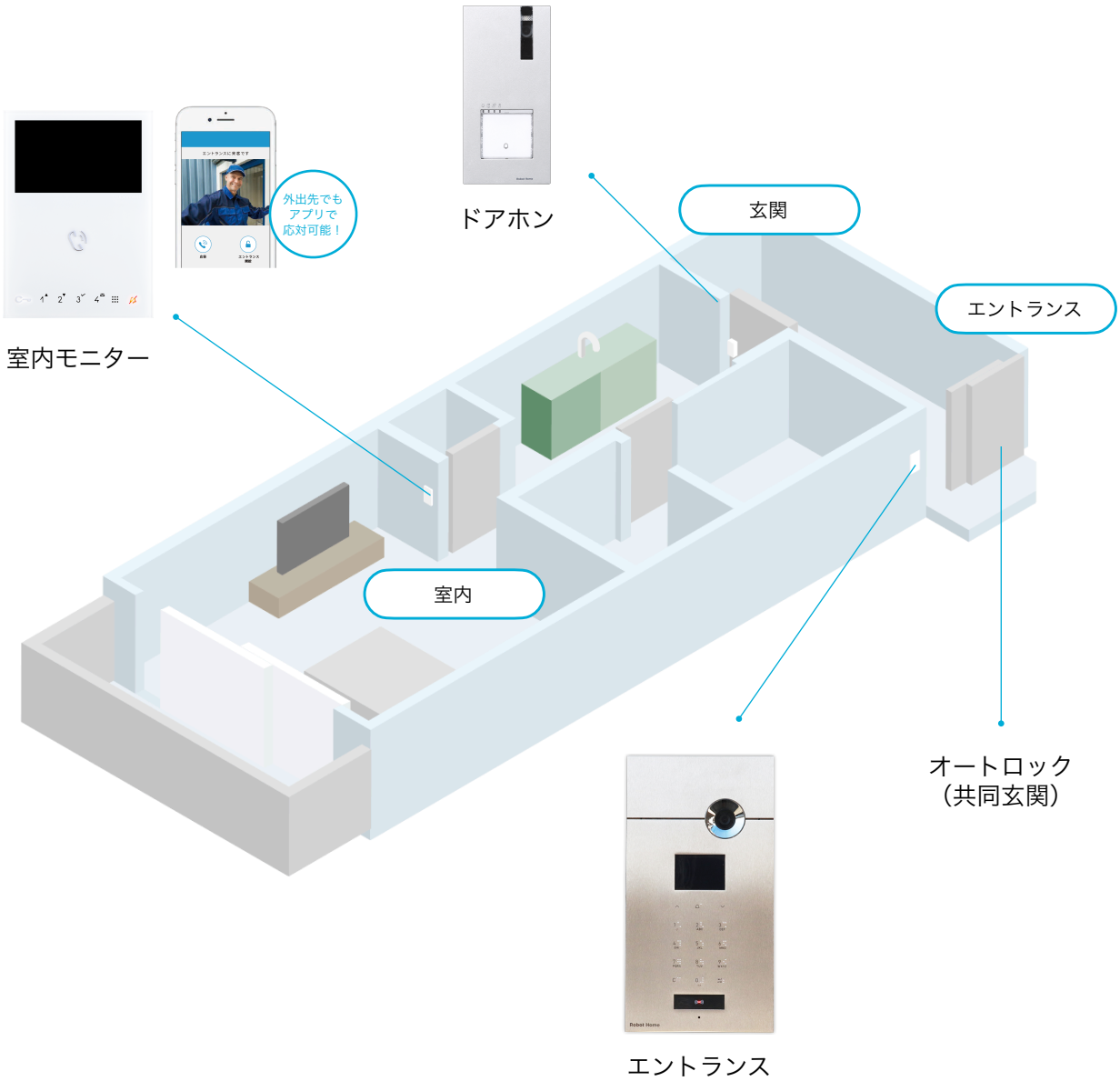
HOME ENTRANCE

エントランス・ドアホン・室内モニター

施 工 説 明 書

施 工 さ れ る 前 に

- 正しい施工をしていただくため、最新の施工説明書を必ずお読みください。
- 施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- 万一、施工説明書に従わず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねます。
- 本システムの故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって正常に機能しなかったことによる付随的な補償や、応答などの機会を逃したために発生した損害等の純粋経済損害につきましては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



目次

1. 安全上のご注意 3
2. システム概要 4
   アプリによる応答・解錠
   スマートフォンへのアプリインストールについて
   部屋番号による機器管理
3. 機器仕様 5
4. 施工の流れ 7
5. セット内容 8
6. 施工上のご注意 9
7. システム図（推奨構成） 12
8. 取付方法 14
   エントランス
   ドアホン
   室内モニター
   エントランス用電源
   PoE Hub用電源
   PoE Hub
   ゲートウェイ
9. 使用方法 28
   エントランス
   ドアホン
   室内モニター
10. 動作確認 30
11. 訪問履歴の削除 34
12. 図面 35

1. 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

ここで示した表示内容は、お使いになる方やその他の方への危険や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告表示の意味

⚠ 警告	使用者が死亡や重傷(※1)を負うおそれがある内容です。
⚠ 注意	使用者が傷害(※2)を負うおそれがある内容、 または物的損害（※3）の発生するおそれがある内容です。

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。
※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。
※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します

⃠	してはいけないことです。	❗	必ず行う（守る）ことです。

⚠ 警告

⃠ 禁止

- 機器を分解/改造/修理しないでください。
  火災や故障、感電の原因となります。
- AC100V用電源線は確実に差し込んでください。
  差し込みが不十分な場合、発熱のおそれ、火災や焼損の原因となります。

❗ 必ず守る

- 配線時は必ず電源がオフになっている状態で行ってください。
  感電や故障の原因となります。
- 指定以外の端子やコネクタにケーブルを接続しないでください。
  火災や故障の原因となります。
- 設置が完了したら、システム動作確認を行ってください。

⚠ 注意

❗ 必ず守る

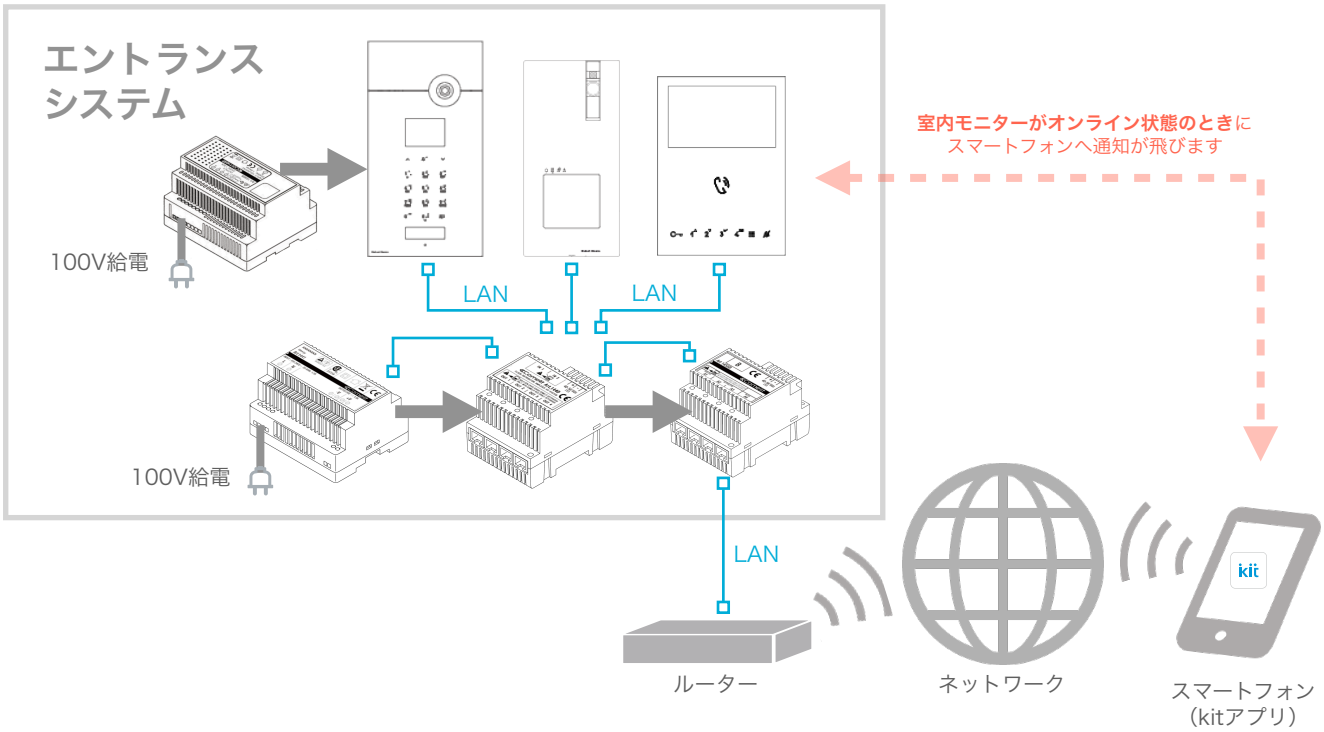
- 本来の目的以外に使用しないでください。
- 本システムは自動火災報知器設備に対応していません。
  設置環境に応じて別途用意してください。
- 点検や調整、修理はRobot Homeサポートセンターにご依頼ください。
- PoE HubはVCCIののクラスAです。
  電波の影響を受ける場所には設置しないでください。
- 一部のLANケーブルについては配線ルールが指定されています。
  本書の指示に従い、適切なLANケーブルを使用してください。
- 本システムは静電気に弱い部品が実装されています。機器を持つときは、
  部品や銅箔パターンにできるだけ触れないようにしてください。
- PoE給電の機器を切断するときは、PoE HubのLANケーブルを抜いてから、
  または電源供給を遮断してから作業してください。

電波法・電気通信事業法に関するご注意

- 本製品は電波法に基づく特定無線設備として技術基準適合証明等に関する規則および電気通信事業法に基づく端末機器の技術適合認定等に関する規則を遵守しているため、使用時に無線局の免許は必要ありません。
- 本製品を改造して使用しないでください。電波法、電気通信事業法に抵触します。
- 本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  産業・化学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用されている免許を必要とする移動体識別用の無線局、免許を必要としない特定の小電力無線局、アマチュア無線局
- 万一、本製品と該当する他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を中止してください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります。 この場合、本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
- Bluetooth無線技術では約10mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。

2. システム概要

本システムは、マンションやアパートなど集合住宅向けのIPインターホンシステムです。すべての機器はLANケーブルとVCTケーブルで配線します。



アプリによる応答・解錠

エントランスまたはドアホンから呼出しがあった際、室内モニターに通知が飛び、応答、連携しているオートロックを解錠できることはもちろんのこと、入居者のスマートフォンにも通知を飛ばし、応答、オートロックの解錠が可能です。※スマートフォンでの操作には専用アプリのインストールが必要です

たとえば、宅配業者が訪問の際にはスマートフォンで相手の姿を映像で確認し、応答、さらにボタンひとつでエントランスのオートロックを解錠することが可能となり、入居者が家に不在のときでも出先から玄関前配達をお願いすることが可能となります。

スマートフォンへのアプリインストールについて

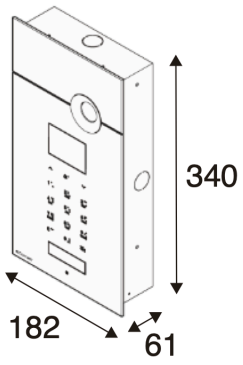
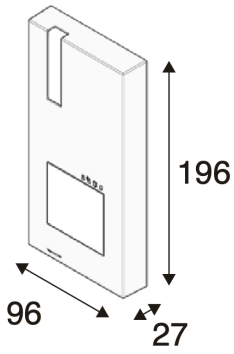
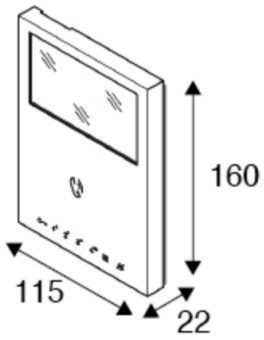
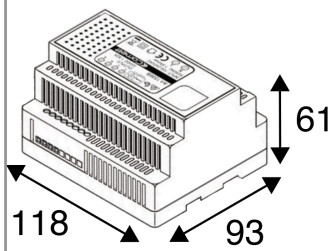
アプリによる応答や解錠には、専用アプリのインストールが必要です。アプリをインストールできる端末のみ操作が可能となります。端末に合わせてアプリをインストール、新規アカウント登録をしてください。なお、動作確認の際にアプリからの応答・解錠を確認する際にもアプリのインストール、新規アカウント登録は必要となります。

kit　GET IT ON Google Play　Download on the App Store

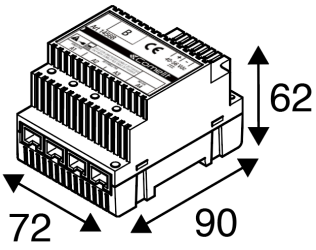
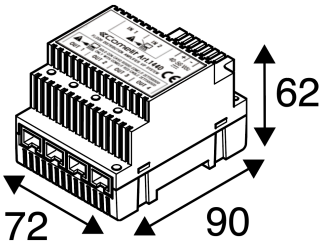
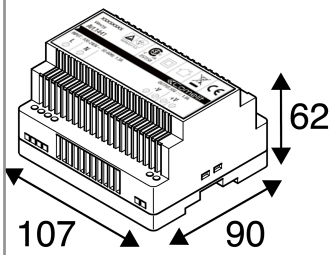
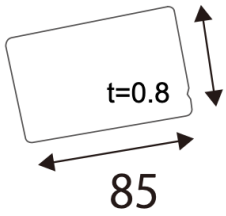
部屋番号による機器管理

本システムでは、各機器をVIPアドレスで管理します。VIPアドレスとは、部屋番号を意味する仮想的なネットワーク上の識別子です。Robot Homeが提供する管理サイトより機器設定を行う際には、自動でVIPアドレスの割振り・管理を行います。

3. 機器仕様

エントランス	ドアホン	室内モニター	エントランス用電源
			
取り付け			取り付け
埋め込み	露出		DINレール 裏面ネジ穴ホルダー
通話方式			
ハンズフリー（同時双方向）			
表示系			
バックライト付LCD	LED表示	4.3”モニター	
操作系			入力
フルフラットキー	メカニカルスイッチ	フラットキー	AC100-240V 50/60Hz 1.5A
カメラ最低照度			出力
約0.3lux （LEDライト付）	約1lux （LEDライト付）		DC33V 1.82A
インタフェース			入力端子
Ethernet (Cat5 LAN) ケーブル直結（ネジクランプコネクタ端子）	Ethernet (Cat5 LAN) RJ45		AC N/L 各1個 （ネジクランプコネクタ端子）
端子			出力端子
リレー接点 （NC/NO/COM）×1			DC V+/V- 各2個 （ネジクランプコネクタ端子）
防塵性・防水性			
IP54			
電源			
エントランス用電源使用	PoE給電 （IEEE802.3af準拠）		
使用範囲温度			
-5～50℃	-25～55℃	-5～40℃	-25～55℃

3. 機器仕様

<table>
<tr><th>ゲートウェイ</th><th>PoE Hub</th><th>PoE Hub用電源</th><th>エントランスカード</th></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td colspan="3">取り付け</td><td>通信規格</td></tr>
<tr><td colspan="3">DINレール
ネジ留め</td><td>MIFARE
13.56MHz
ISO 14443A</td></tr>
<tr><td>通信方式</td><td></td><td>入力</td><td rowspan="11"></td></tr>
<tr><td>独自プロトコル
SIP</td><td></td><td>AC100-240V
50/60Hz 1.5A</td></tr>
<tr><td colspan="2">インタフェース</td><td>出力</td></tr>
<tr><td>Ethernet (Cat5 LAN)
A：4ポート
B：1ポート
RJ45</td><td>Ethernet (Cat5 LAN)
カスケード：2ポート
クライアント：4ポート
RJ45</td><td>DC56V
1.8A</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>入力端子</td></tr>
<tr><td colspan="2">PoE Hub用電源使用</td><td>AC N/L 各1個
（ネジクランプコネクタ端子）</td></tr>
<tr><td colspan="2">DC入力端子</td><td>出力端子</td></tr>
<tr><td colspan="2">DC V+/V- 各1個
（ネジクランプコネクタ端子）</td><td>DC V+/V- 各2個
（ネジクランプコネクタ端子）</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用範囲温度</td></tr>
<tr><td colspan="2">-5～50℃</td><td>-30～55℃</td></tr>
</table>

4. 施工の流れ

下記の手順にて、機器設置から設定、動作確認まで行ってください。

1. 本体の取付け

・エントランス、ドアホン、室内モニター、その他エントランスシステム機器を取付ける
・ルーター、リブーター等の市販周辺機器を取付ける

2. 配線の接続

・各機器同士を指示通りに接続する
※ 電子錠との接続も行うこと

3. ネットワークの設定

・ルーターの設定をする
　※ポートフォワーディング設定が必須
・リブーターの設定をする

4. システムの起動

・起動前に誤配線がないことを確認する
・ルーターや市販周辺機器を起動する
・エントランスシステムを起動する

5. 動作確認

※ ネットワークが正常に稼働していないと動作確認できません

・管理サイトから機器の接続状態を確認する
・エントランスカードによるエントランスの解錠を確認する
・エントランスから各部屋への呼出、応答、室内モニターからの解錠を確認する
・ドアホンから各部屋への呼出、応答を確認する

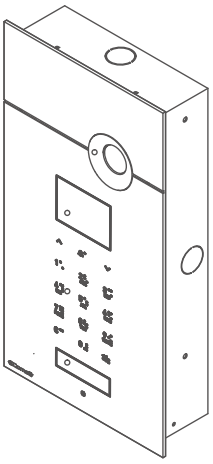
6. 室内モニターの訪問履歴削除

・室内モニターより訪問履歴をすべて削除する

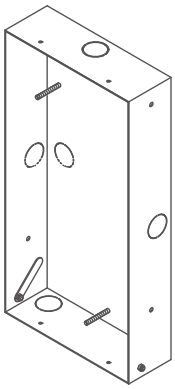
5. セット内容

エントランス

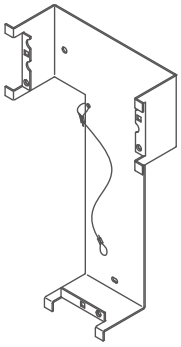
本体



埋込Box



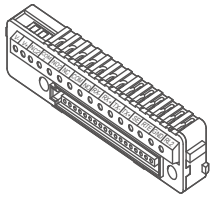
アングル



アングル取付用
蝶ネジ



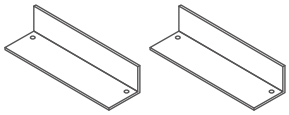
メインコネクタ



本体取付用
六角レンチ



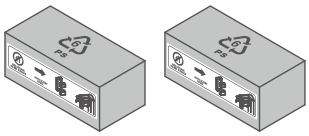
壁面版挟み込み取付用
L 字金具



L 字金具取付用
ネジおよびナット

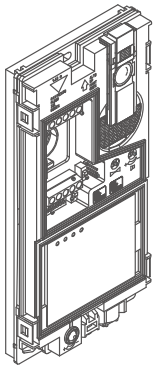


モルタル埋め時
発泡ウレタン

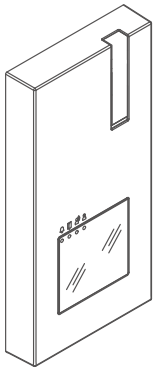


ドアホン

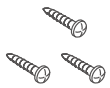
本体



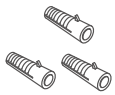
フロントパネル



木ネジ

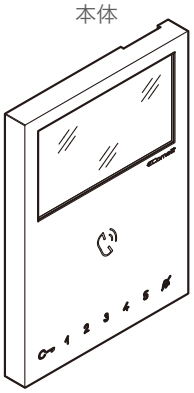


アンカー

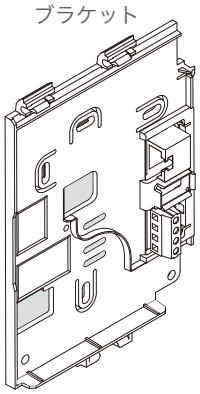


室内モニター

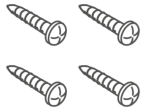
本体



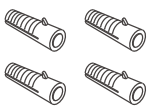
ブラケット



木ネジ



アンカー



6. 施工上のご注意　- エントランス -

取扱上のご注意

- 濡れた手で本機を触らないでください。ショートや故障、感電の原因となります。
- 内部に水や異物を入れないでください。ショートや故障、火災の原因となります。
- 端子表示の通りに配線してください。配線を間違えるとシステムが動作しません。
- 不適切な接続は誤動作や故障の原因となります。
- ケーブルの使用しない芯線同士が接触しないよう端処理してください。
- 埋込BOX内に水がたまらないように水抜き工事をしてください。
  また、配管からスイッチボックス内に湿気や暖気が入らないように、
  流入する個所をシーリング材などでふさいでください。故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 近くに高出力の無線局などがあると映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機からの呼び出しをスマートフォンで受けた場合に、映像や音声が乱れる場合がありますが、
  ネットワーク回線に依存するものであり、故障ではありません。

設置上のご注意

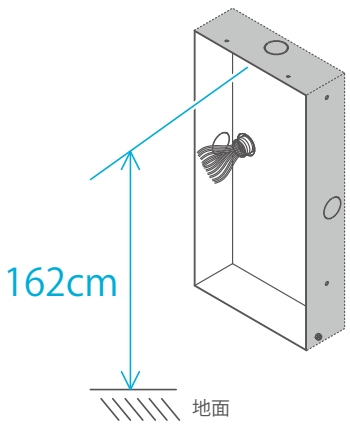
- 本体パネル側は防雨構造（IP54相当）となっていますが、
  凍結のおそれのある屋外には取り付けないでください。
- 防雨構造（IP54相当）の規定値を超えるような強い雨がかかる場所に設置する場合には、
  保護のために防雨構造のボックスなどの中に取り付けてください。
- 埋込BOX側は非防水となっています。
  雨風や直射日光が直接当たる場所（屋外など）および湿気の多い場所（給湯室など）には
  設置しないでください。感電、故障の原因となります。
- 傾斜台取り付けはしないでください。
- 直射日光や照明器具により逆光状態にならないように取り付けてください。
- レンズ部にゴミがついていると、光が乱反射して映像に入る場合があります。
  やわらかい布で傷をつけないようにレンズ部を拭いてください。
- 施工後、壁洗いなどにより水や塩素系洗剤をかけないでください。故障の原因となります。
- LANケーブルと強電ケーブルが平行となる引き回しは避けてください。
  誘導ノイズによる誤動作の原因となります。
- ホールのような密室に設置する場合には、音の反響具合を事前に確認し設置位置を決定してください。

次のような場所には設置しないでください（誤動作や故障の原因となります）

- 直射日光の当たる場所
- 水滴や蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 薬品などのガスが発生する場所
- 強電界やノイズの発生する場所
- 周囲に操作上支障となる障害物がある場所
- 衝撃や振動などの影響を受ける場所
- 常に人がいなくて様子を確かめられない場所

設置高さについて

カメラ側で角度や画角を変更することはできません。埋込Boxの取付高さにて調整をしてください。
推奨高さは、埋込Boxの上端が地面から162cmです。



6. 施工上のご注意　- ドアホン -

取扱上のご注意

- 濡れた手で本機を触らないでください。ショートや故障、感電の原因となります。
- 内部に水や異物を入れないでください。ショートや故障、火災の原因となります。
- 端子表示の通りに配線してください。配線を間違えるとシステムが動作しません。
- 不適切な接続は誤動作や故障の原因となります。
- ケーブルの使用しない芯線同士が接触しないよう端処理してください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 近くに高出力の無線局などがあると映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機からの呼び出しをスマートフォンで受けた場合に、映像や音声が乱れる場合がありますが、ネットワーク回線に依存するものであり、故障ではありません。

設置上のご注意

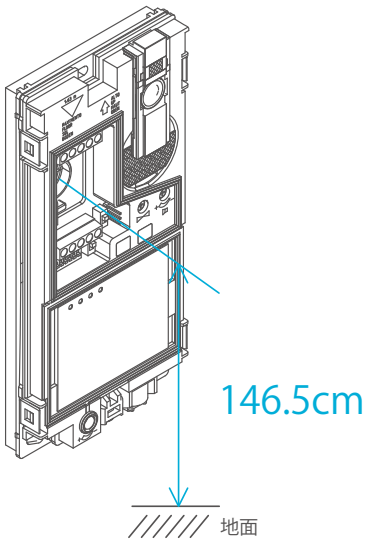
- 防雨構造（IP54相当）の規定値を超えるような強い雨がかかる場所に設置する場合には、保護のために防雨構造のボックスなどの中に取り付けてください。
- 防雨構造（IP54相当）となっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
- 直射日光や照明器具により逆光状態にならないように取り付けてください。
- レンズ部にゴミがついていると、光や乱反射して映像に入る場合があります。やわらかい布で傷をつけないようにレンズ部を拭いてください。
- スイッチボックスには対応していません。
- フロントパネルを固定するネジの回し方向に注意してください。右回り（時計回り）に回すと外れます。
- フロントパネルを固定するネジは最低8回まわしてください。
- LANケーブルと強電ケーブルが平行となる引き回しは避けてください。誘導ノイズによる誤動作の原因となります。

次のような場所には設置しないでください（誤動作や故障の原因となります）

- 直射日光の当たる場所
- 水滴や蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 薬品などのガスが発生する場所
- 強電界やノイズの発生する場所
- 周囲に操作上支障となる障害物がある場所
- 衝撃や振動などの影響を受ける場所
- 常に人がいなくて様子を確かめられない場所

設置高さについて

カメラ側で角度や画角を変更することはできません。LANケーブルの通し穴の高さにて調整をしてください。
推奨高さは、LANケーブルの通し穴センターが地面から146.5cmです。



6. 施工上のご注意　- 室内モニター -

取扱上のご注意

- 濡れた手で本機を触らないでください。ショートや故障、感電の原因となります。
- 内部に水や異物を入れないでください。ショートや故障、火災の原因となります。
- 端子表示の通りに配線してください。配線を間違えるとシステムが動作しません。
- 不適切な接続は誤動作や故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 近くに高出力の無線局などがあると映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

設置上のご注意

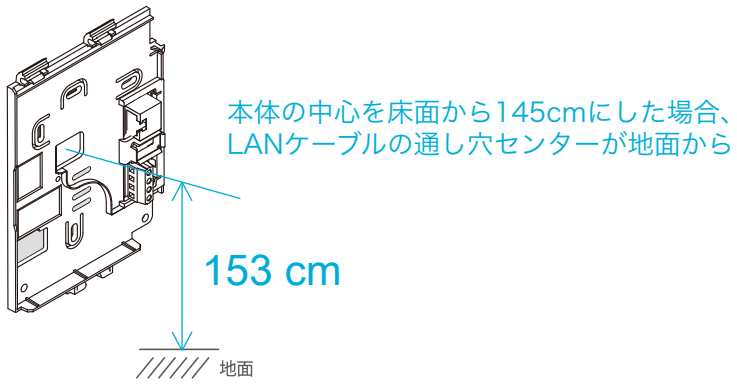
- 本機は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 液晶に汚れやゴミがついていると、誤動作を起こす場合があります。
  やわらかい布で傷をつけないように液晶をふいてください。
- キーを強く押すと故障の原因となります。
- 個体差により、本体とブラケットがはずれにくいことがあります。
- 液晶の破損や故障の原因となりますので、強い衝撃や振動を与えないでください。
- LANケーブルと強電ケーブルが平行となる引き回しは避けてください。
  誘導ノイズによる誤動作の原因となります。

次のような場所には設置しないでください（誤動作や故障の原因となります）

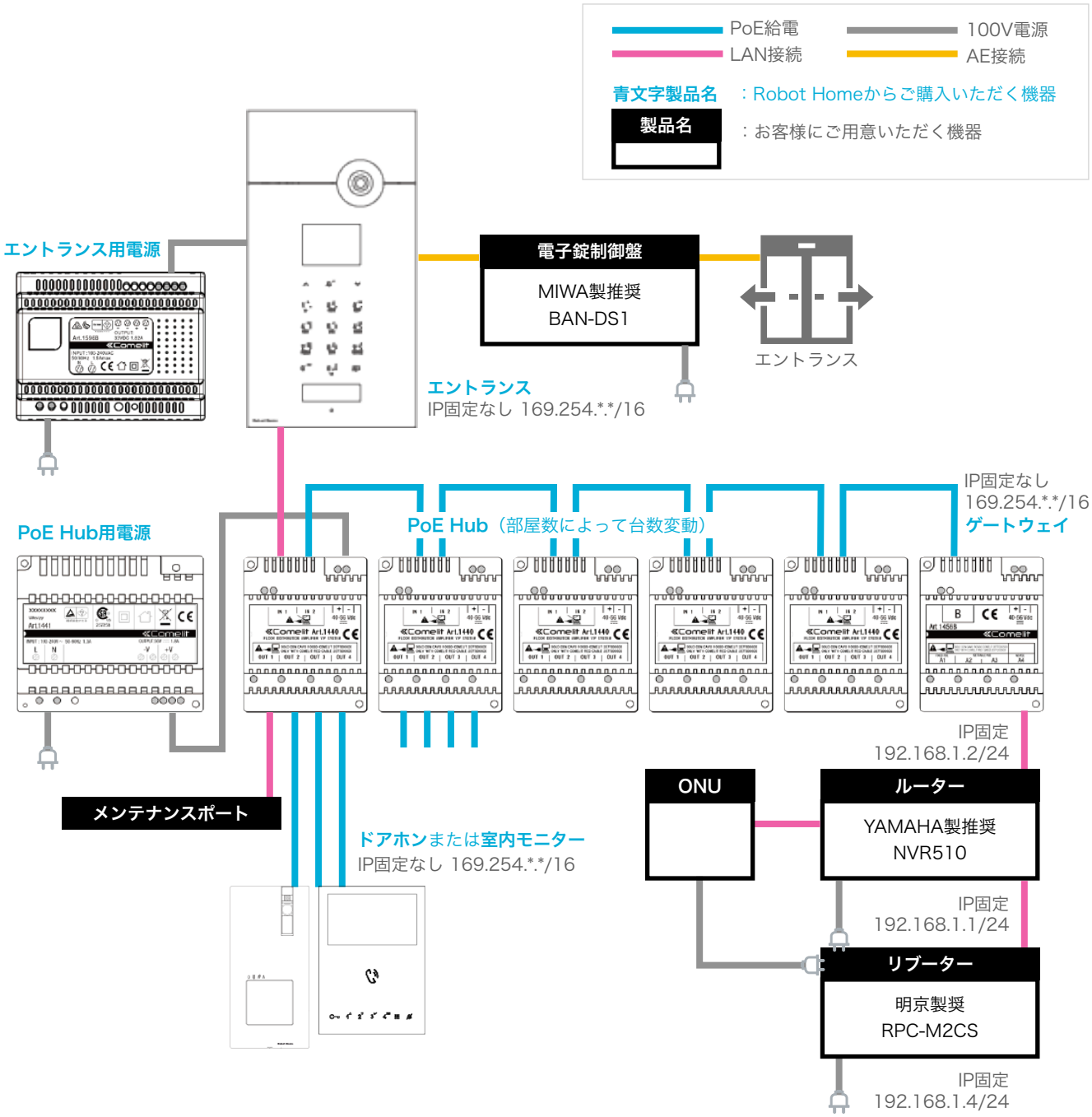
- 極端に寒い場所・暑い場所
  冷暖房の近くや、直射日光の当たる場所
- 密閉された狭い場所（脱衣所・トイレなど）
  音が反響して、ハウリング（ピー音がして通話できなくなる）の原因となります。
- 水や雨がかかる場所（野外・窓のそばなど）
  感電の原因となります。
- テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く
  映像や音声が乱れる場合があります。
- ストーブや加湿器のそば
- 直接湯気のかかる場所や湿気の多い場所（浴室など）
- ごみやホコリの多い場所
- 硫化水素などの発生する場所（温泉地など）
  寿命が短くなることがあります
- 強電界やノイズの発生する場所
- 周囲に操作上支障となる障害物がある場所
- 衝撃や振動などの影響を受ける場所

設置高さについて

一般的に、本体の中心を床面から145～150cm程度の高さに設置することが理想的と言われていますが、本体操作のしやすさや呼出し応答中の音の反響等があるため、入居者の属性や部屋の構造に合わせて調整をしてください。



7. システム図（推奨構成）



ルーターの設定

本システムを連携させるには、必ずルーターの設定が必要となります。（ポートフォワーディング機能必須）
設定がされていない場合、呼び出しをしても通知が飛ばない等のエラーにつながります。ルーターの設定方法については、各種メーカーの取扱説明書をご参照ください。

ポートフォワーディング設定

- Global側の64100番ポートを
  ゲートウェイのローカルIPアドレスの64100番ポート（TCP/UDP）にマッピング
- Global側の64199番ポートを
  ゲートウェイのローカルIPアドレスの64199番ポート（TCP/UDP）にマッピング

※ポートフォワーディング≒ポートマッピング≒IPマスカレード等、メーカーによって名称が変わります

7. システム図（推奨構成）

リブーターの設定

推奨構成として遠隔で再起動をかけることができるリブーター導入をお勧めしております。リブーターの設定方法については、各種メーカーの取扱説明書をご参照ください。

専用ブレーカーの確保

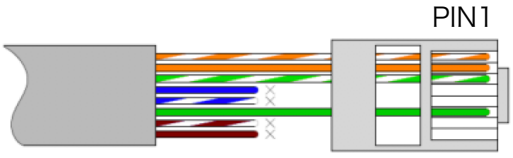
エントランス用電源とPoE Hub用電源については、電子錠やルーター等の他の機器から分離し、専用のブレーカーを確保してください。

PoE Hubのメンテナンスポートの確保

PoE Hubにはメンテナンス用のポートを確保する必要があります。必ずPUTポートを1つ空けた状態にしてください。また、接続の際には下記のルールに沿って加工したLANケーブルを用意してください。

【要加工】メンテナンス用LANケーブルについて

必ず電源をカットしたLANケーブルで接続すること



PIN1：RX+/橙＆白
PIN2：RX-/橙
PIN3：TX+/緑＆白
PIN4：V+/青　＜カット＞
PIN5：V+/青＆白　＜カット＞
PIN6：TX-/緑
PIN7：V-/茶＆白　＜カット＞
PIN8：V-/茶　＜カット＞

PoE Hubのカスケード接続

1台のPoE Hubでドアホンまたは室内モニターを最大4台接続可能です。それ以上の台数を接続するには複数のPoE Hubを連結する必要があります。連結にはPoE Hubのカスケードポート同士をLANケーブルで接続してください。接続を誤ると故障の原因となりますのでご注意ください。

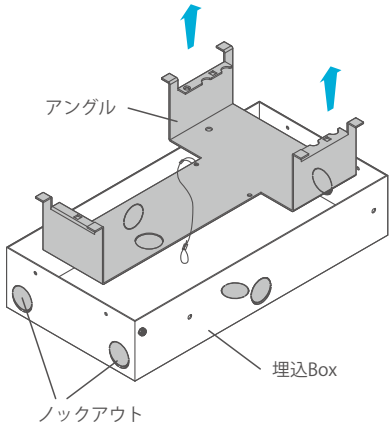
- カスケードポートには給電方向があるため、必ず向きを守ってください。
- LANケーブルはCat5eを使用してください。
- PoE Hubの最大連結数は5台です。6台以上連結する場合はPoE Hub用電源が追加で必要です。

カスケードの給電向きに注意

カスケードポートには給電方向（IN2→IN1）があるため、必ず向きを守ってください。
詳しくは取付方法のページをご確認ください。

8. 取付方法　- エントランス -

① 設置前準備

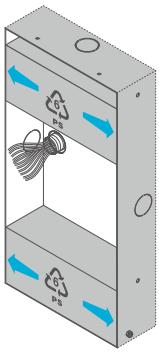


1. アングルをはずす

2. 使用するノックアウト
（ケーブル配線用穴）をはずす

② 埋込Boxを固定する

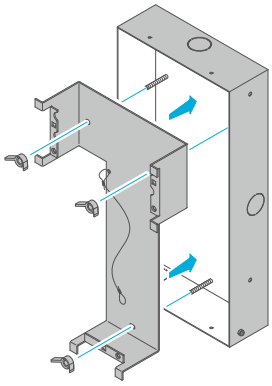
モルタル固定の場合



1. 発砲ウレタン2個を
埋込Boxの上下に入れる

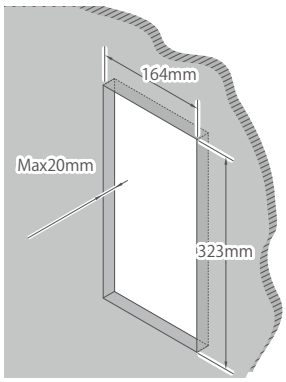
2. 埋込Boxをモルタルで固定する

3. モルタルが固まったら
ウレタンを取り除く

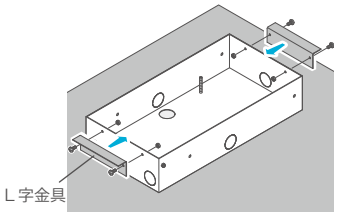


4. アングルを蝶ネジで
固定する

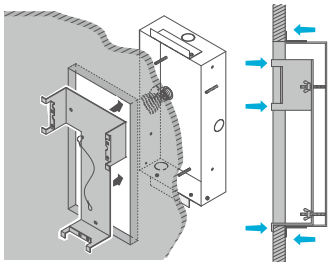
壁面版への挟み込み固定の場合



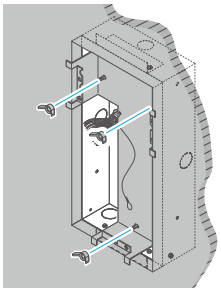
1. 壁面版に開口部を
用意する



2. 埋込Boxの上下に
L字金具をネジと
ナットで固定する

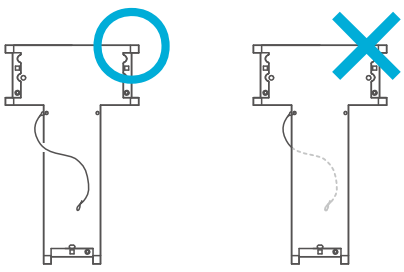


3. 壁面版を挟み込む
ようにアングルを
取り付ける



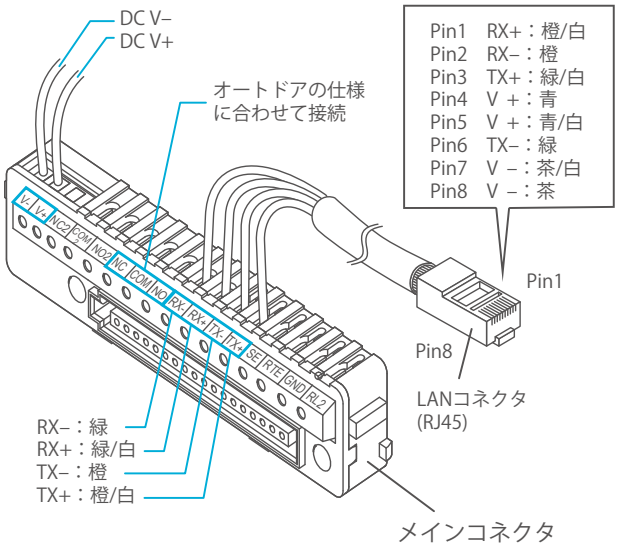
4. アングルを蝶ネジ
で固定する

アングル固定時ワイヤーの位置に注意



8. 取付方法　- エントランス -

③ ケーブルを接続する



1. メインコネクタにエントランス用電源からの
   VCTケーブルを接続する

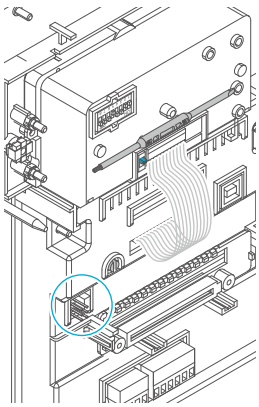
※ 可とう性による機器破損軽減と施工性向上のため、以下のケーブルを推奨
- 1.25SQR-2C：Max50m
- 0.75SQR-2C：Max25m

2. メインコネクタにPoE HubからのLANケーブルを接続する。被覆長は3mm程度が目安となり、V+（青、青/白）およびV-（茶、茶/白）は使用しない

3. オートドア（電気錠）あるいはオートドア制御装置の仕様に応じてNO：ノーマリーオープン、NC：ノーマリークローズ、COM：コモンにケーブルを接続する

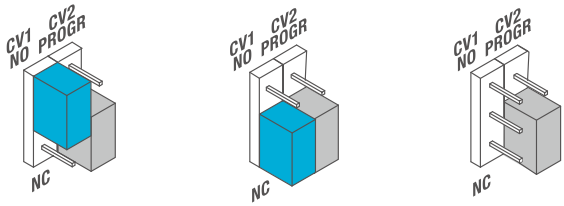
※ 以下のケーブルを推奨
- AE0.9-2C：Max50m

④ ジャンパーを設定する

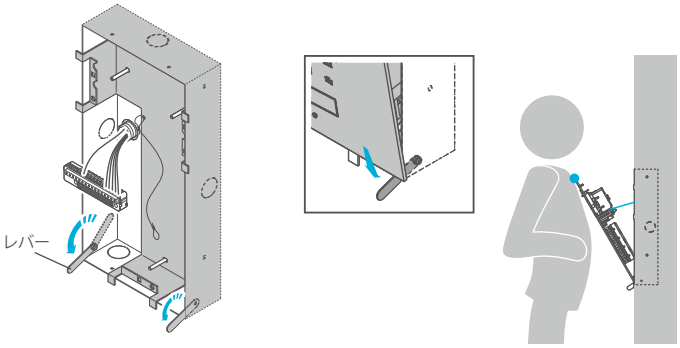


1. 本体裏側のジャンパーをオートドアの
   接続形態に応じて設定する

NO	NC	未使用
NO-COM（a接点） 工場出荷状態	NC-COM（b接点）	未接続



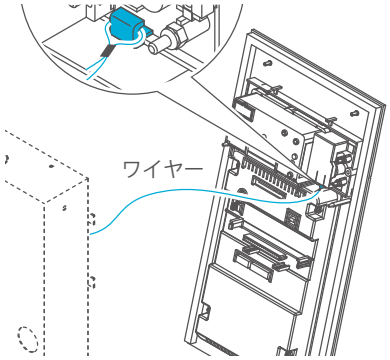
⑤ 本体を取り付ける



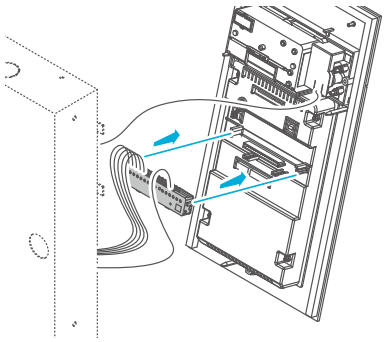
1. 埋込Box下側にあるレバーを手前に倒し、
   本体をこのレバーの上に載せる

8. 取付方法　- エントランス -

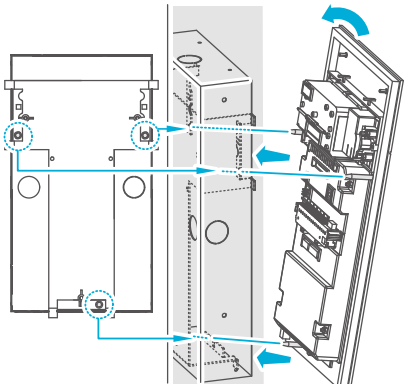
⑤ 本体を取り付ける



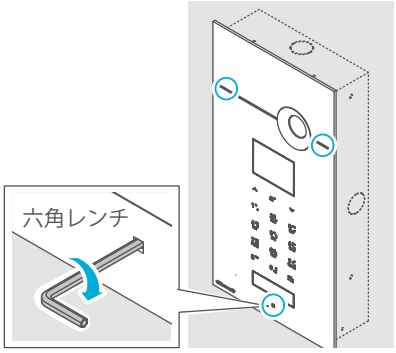
2. アングルのワイヤーを本体内側のフックにひっかける



3. メインコネクタを本体へ取り付ける
（コネクタの向きに注意）



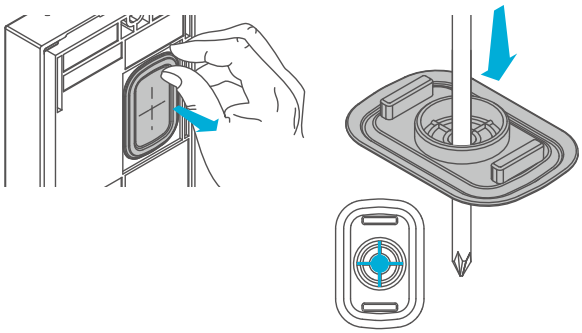
4. レバーを埋込Box内側へ収納し、埋込Boxのガイドピンをアングルのガイド穴に挿入する



5. パネルのネジ穴に六角レンチを挿入して本体を固定する（ネジは本体内に含まれています）

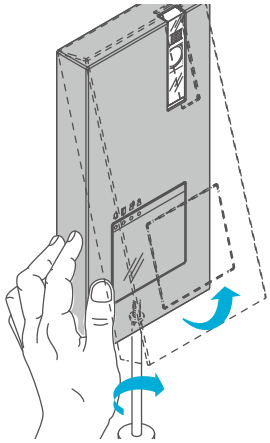
8. 取付方法　- ドアホン -

① 設置前準備



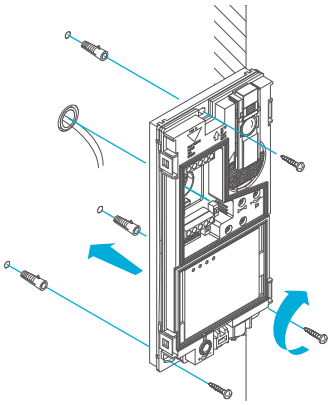
1. 本体背面のゴムキャップを外す

2. プラスドライバー等でゴムキャップ
   中央にLANケーブルを通す穴をあけ、
   キャップを元に戻す



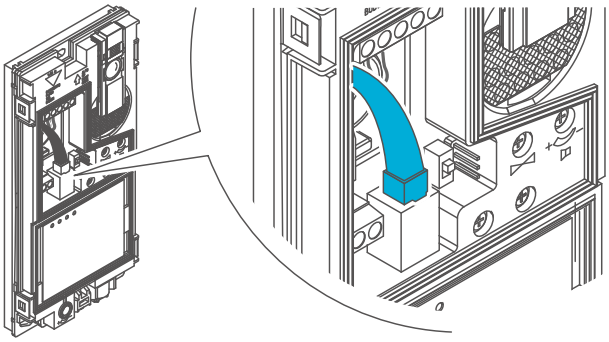
3. 本体下部のネジを右回り（時計回り）
   に回して、フロントパネルを取り外す
   （ネジを回す向きに注意）

② 本体を固定する



1. 本体をネジで固定する
   必要に応じでアンカーを利用すること

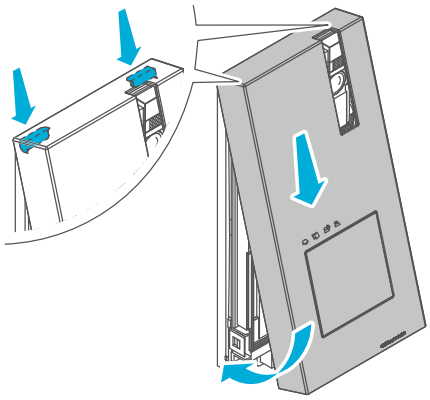
③ LANケーブルを接続する



1. PoE HubからのLANケーブルを接続する

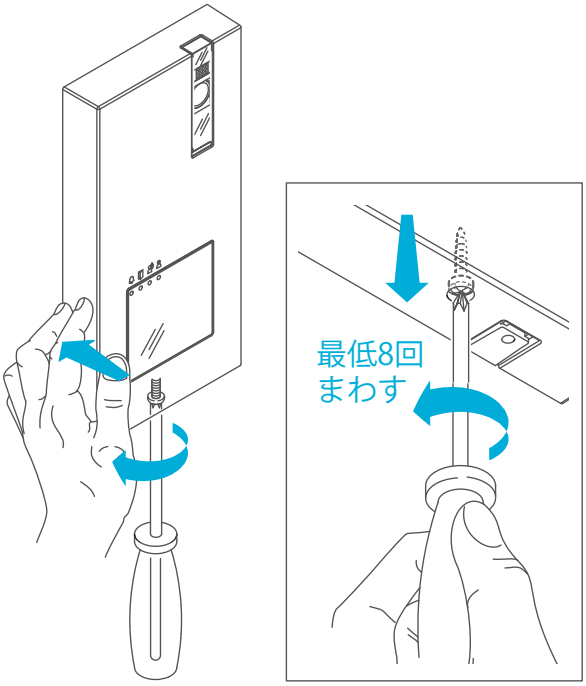
8. 取付方法　- ドアホン -

④ フロントパネルを取り付ける



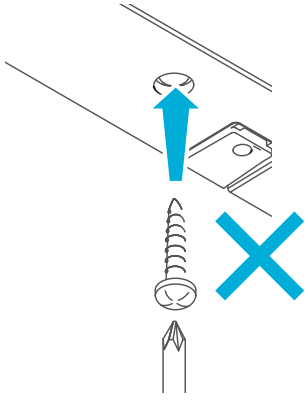
1. 本体上部の突起にフロントパネルを引っ掛ける

2. 耐水性確保のためしっかりと噛み合わせ、
フロントパネルをとじる



1. フロントパネル下部を本体に押し付けた状態で、ネジを左回り（反時計回り）に回して取り付ける

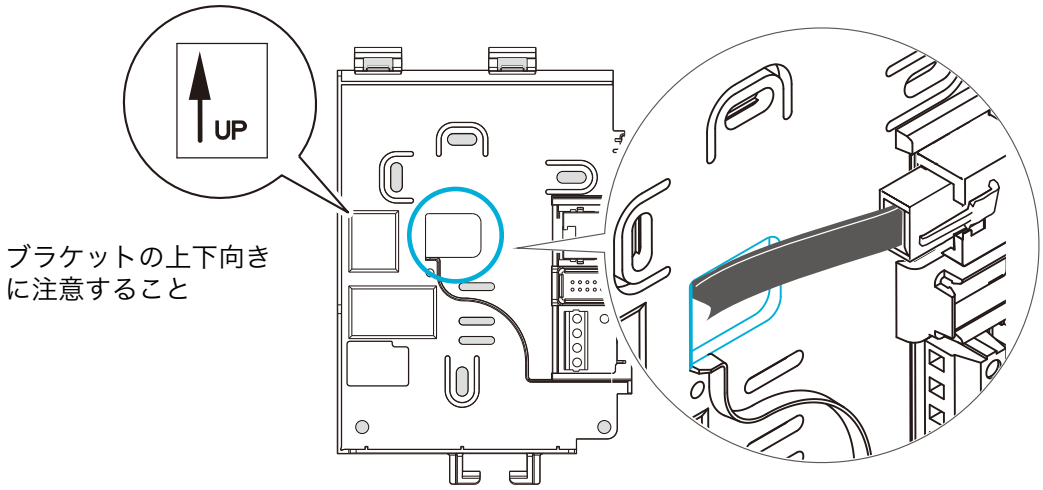
フロントパネルの外側からネジで固定しないこと



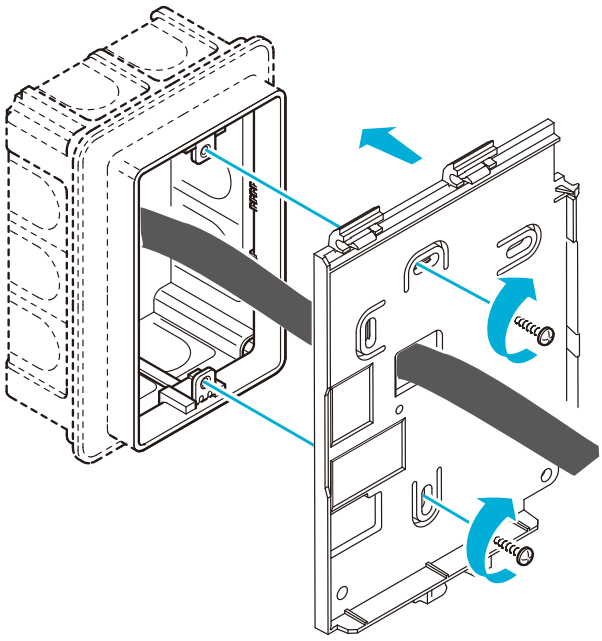
8. 取付方法　- 室内モニター -

① ブラケットを固定する

注 意 事 項



スイッチボックスを利用する場合

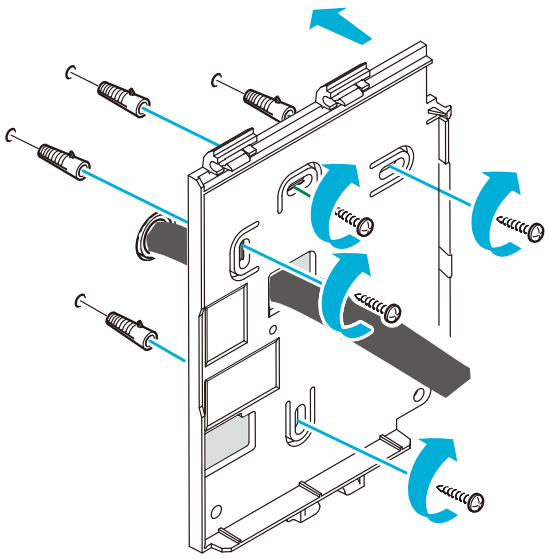


1. LANケーブルを穴に通す

2. ブラケットをあて、上下をネジで固定する

※ JIS1個口のスイッチボックスに対応

壁へ直接設置する場合

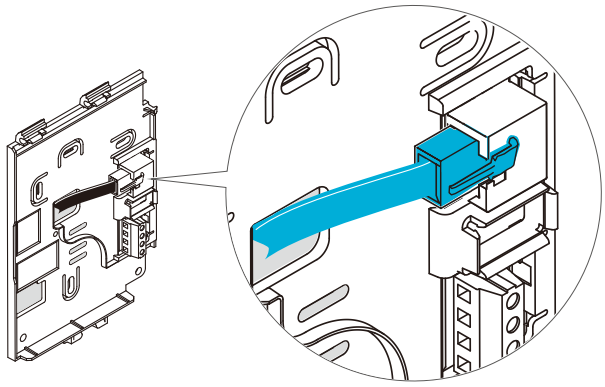


1. LANケーブルを穴に通す

2. ブラケットをあて、ブラケットをネジで固定する
   必要に応じでアンカーを利用すること

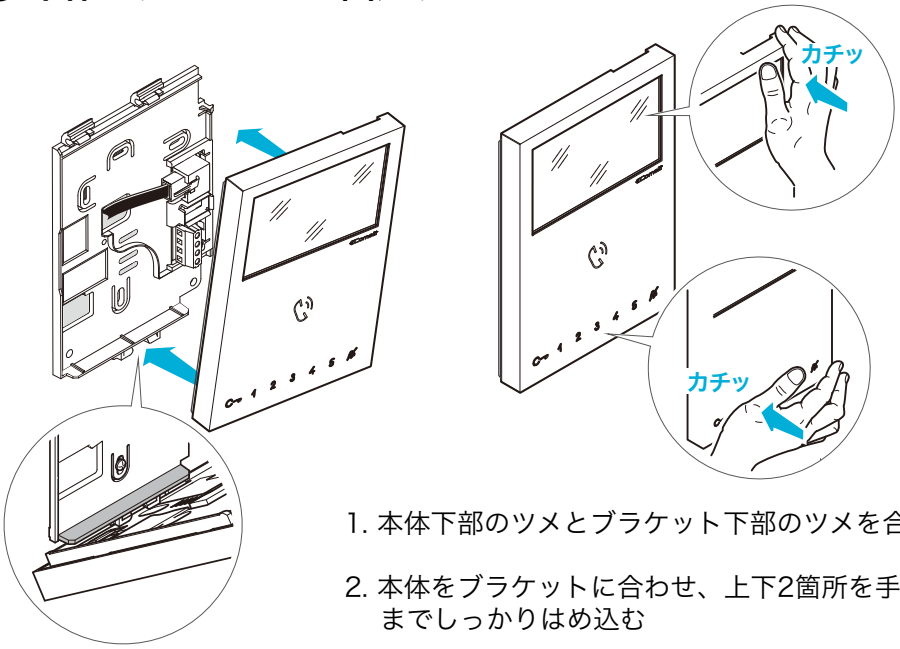
8. 取付方法　- 室内モニター -

② LANケーブルを接続する



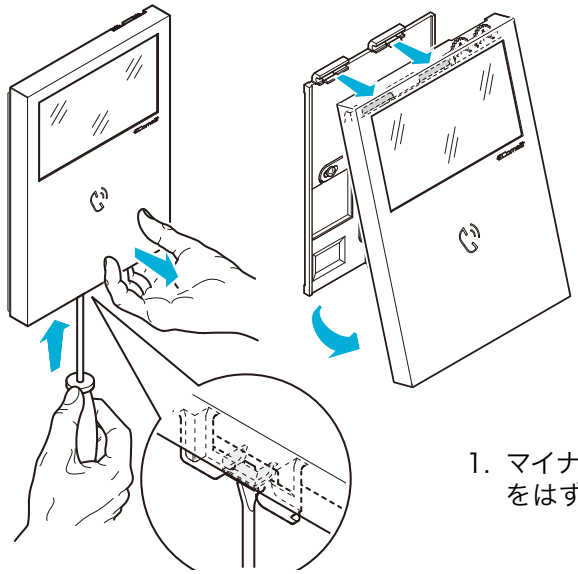
1. 穴を通したLANケーブルをRJ45ソケットへ接続する

③ 本体をブラケットに固定する



1. 本体下部のツメとブラケット下部のツメを合わせる
2. 本体をブラケットに合わせ、上下2箇所を手のひらで「カチッ」と音がするまでしっかりはめ込む

本体をブラケットから外したいときは、



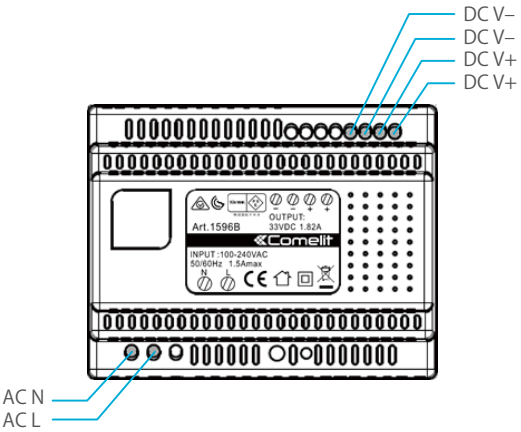
ツメの掛かりの硬さに注意

ツメをしっかりと押し込めていない状態で本体をはずそうとすると破損につながるため注意すること

1. マイナスドライバーをツメ部分に差し込み、押し上げながら本体をはずす

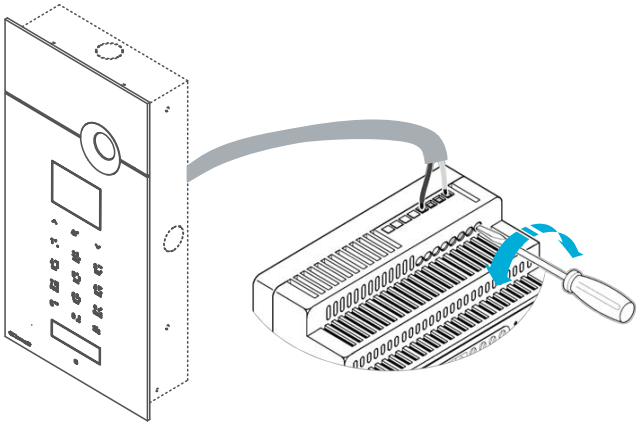
8. 取付方法　- エントランス用電源 -

① VCTケーブルを接続する

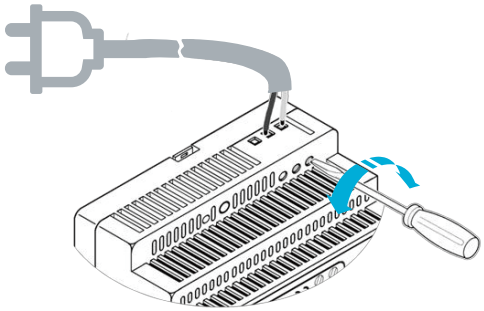


ショートに注意

高電圧のためショートすると大変危険です。
配線が遊ばないよう、抜けないよう、
しっかり固定してください。



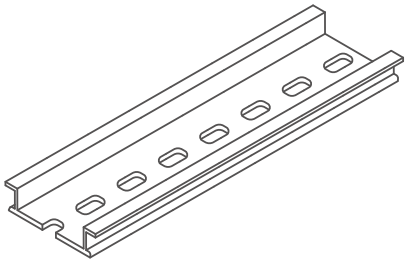
1. エントランスのメインコネクタに接続したVCTケーブルをエントランス用電源のDC出力端子に接続する
2. マイナスドライバーで端子を締め付け、ケーブルが抜けないように調整する



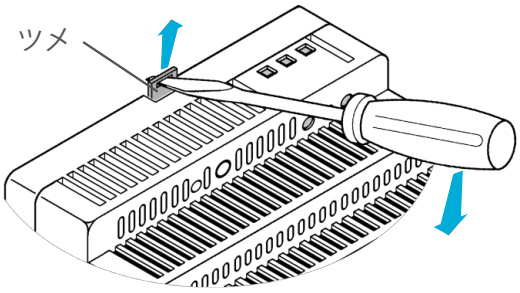
3. コンセントプラグ加工したVCTケーブルをエントランス用電源のAC入力端子に接続する
4. マイナスドライバーで端子を締め付け、ケーブルが抜けないように調整する

8. 取付方法　- エントランス用電源 -

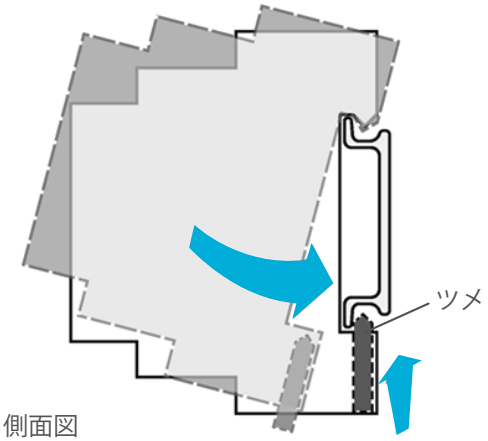
② 本体を固定する



エントランス用電源はDINレールを使ってMDF盤内へ取り付けることを推奨しています。
※DINレールは同梱物に含まれていません



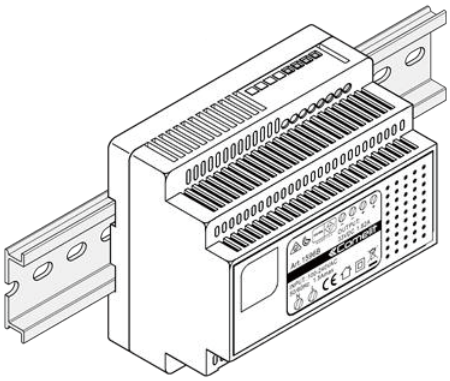
1. 本体下部にあるツメをマイナスドライバーを使って引き出す



側面図

2. 本体背面の上部をDINレールに引っ掛け、下部をレールにはめる

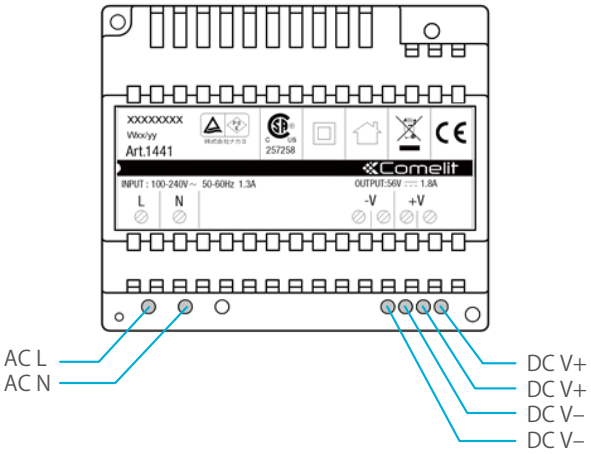
3. 本体がレールにはまったら、ツメを下から押し上げ固定する



4. 本体ラベルが正視できることを確認する

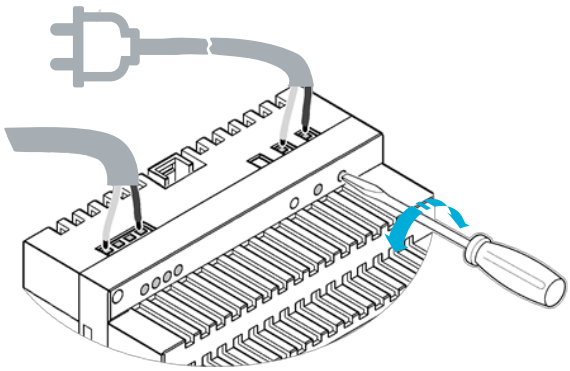
8. 取付方法　- PoE Hub用電源 -

① VCTケーブルを接続する



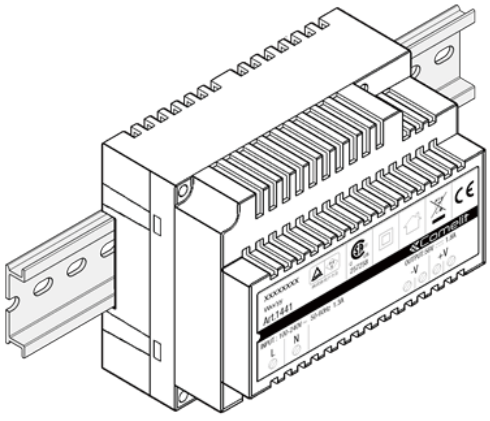
ショートに注意

高電圧のためショートすると大変危険です。
配線が遊ばないよう、抜けないよう、
しっかり固定してください。



1. PoE Hubに接続するVCTケーブルをPoE Hub用電源のDC出力端子に接続する（両端の端子を使用することを推奨）
2. マイナスドライバーで端子を締め付け、ケーブルが抜けないように調整する
3. コンセントプラグ加工したVCTケーブルをPoE Hub用電源のAC入力端子に接続する
4. マイナスドライバーで端子を締め付け、ケーブルが抜けないように調整する

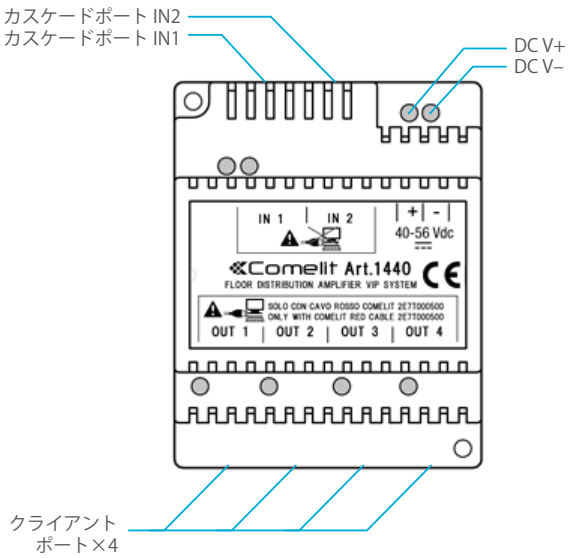
② 本体を固定する



1. エントランス用電源同様、DINレールに本体を固定する
2. 本体ラベルが正視できることを確認する

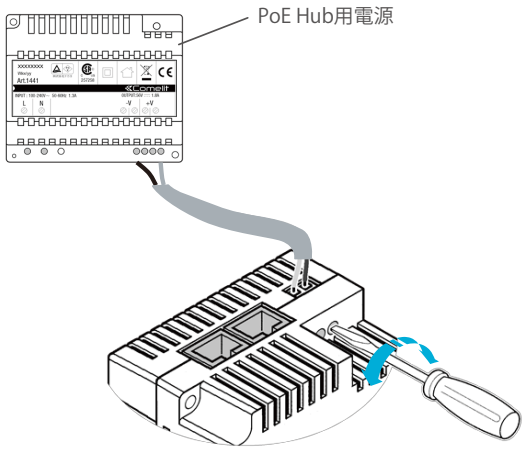
8. 取付方法　- PoE Hub -

① PoE Hub用電源からのVCTケーブルを接続する



ショートに注意

高電圧のためショートすると大変危険です。
配線が遊ばないよう、抜けないよう、
しっかり固定してください。



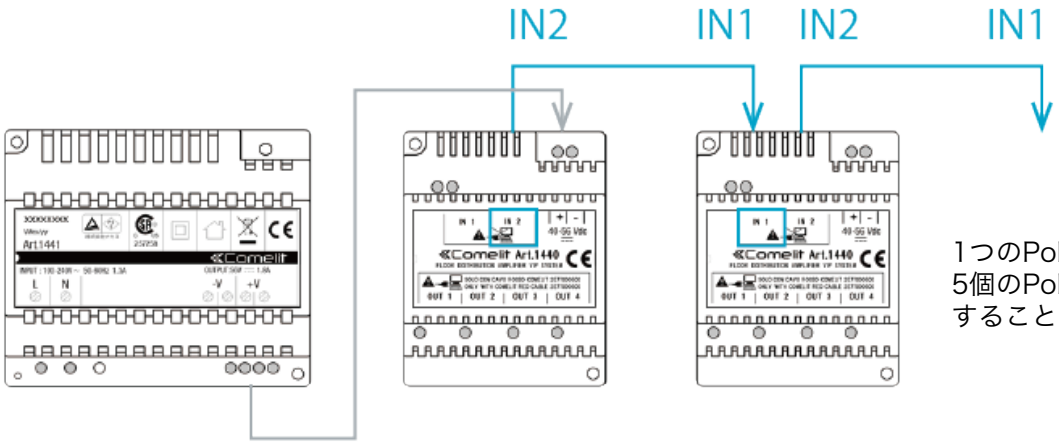
1. PoE Hub用電源に接続したVCTケーブルを
   PoE HubのDC入力端子に接続する

2. マイナスドライバーで端子を締め付け、
   ケーブルが抜けないように調整する

② 複数のPoE Hubをカスケード接続する

カスケードの給電向きに注意

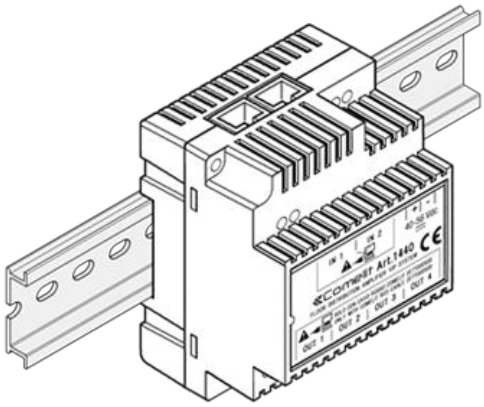
カスケードポートには給電方向（IN2→IN1）があるため、必ず向きを守ってください。



1つのPoE Hub用電源には
5個のPoE Hubをカスケード
することが可能

8. 取付方法　- PoE Hub -

③ 本体を固定する



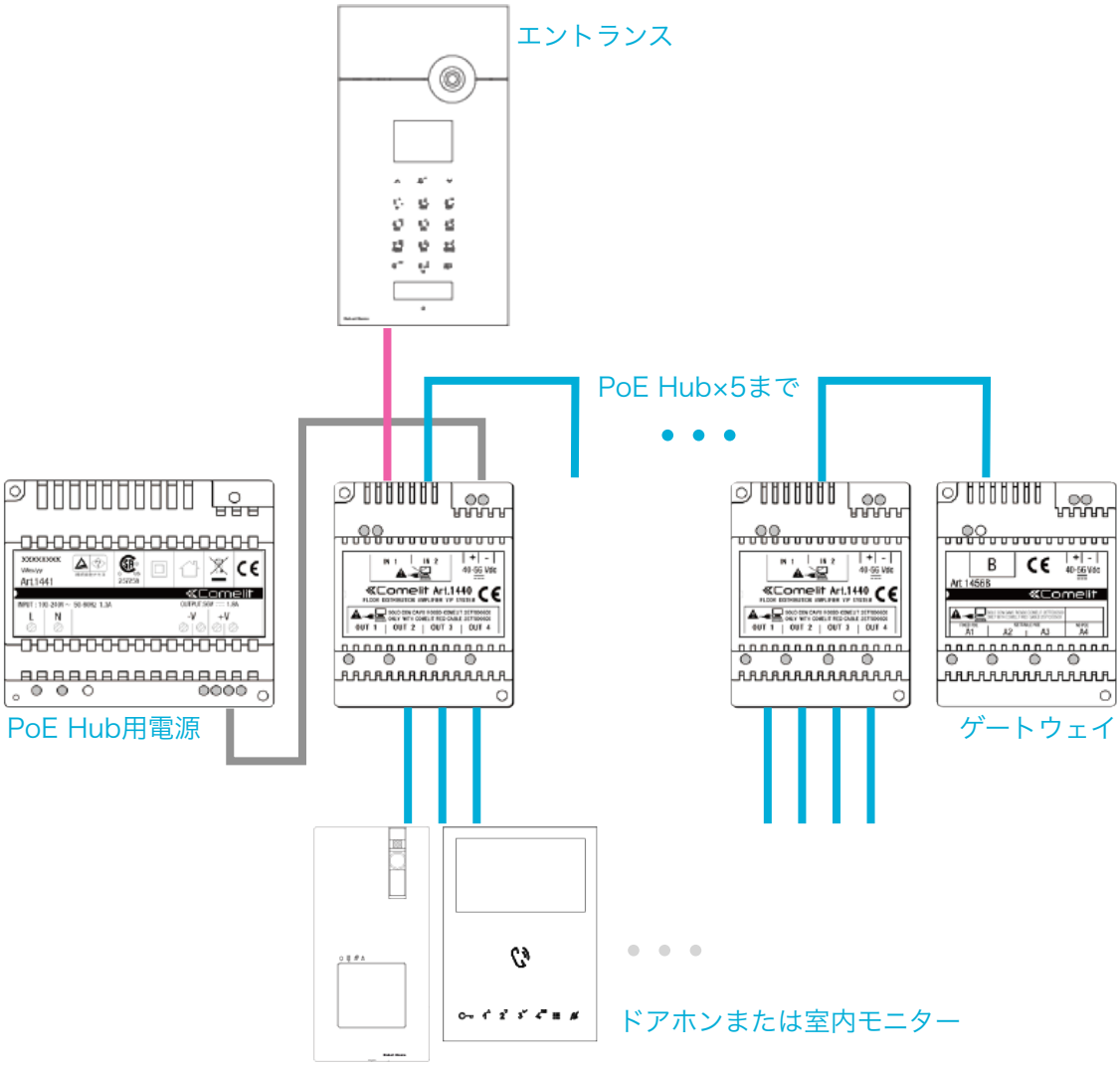
1. エントランス用電源同様、DINレールに本体を固定する

2. 本体ラベルが正視できることを確認する

④ エントランス・ドアホンのLANケーブルを接続する

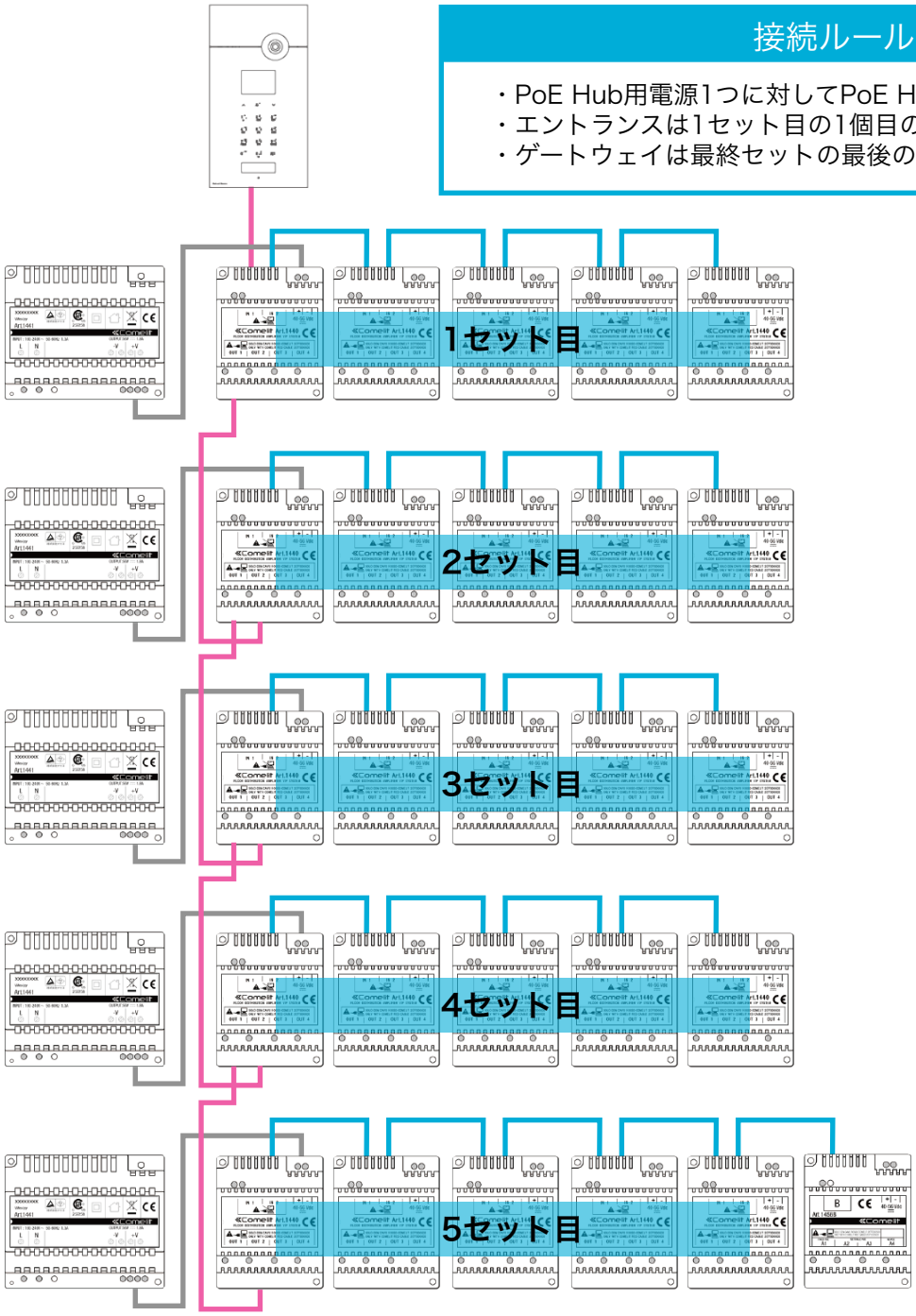
それぞれの挿入先に注意

エントランス：PoE Hub用電源に接続しているPoE HubのIN1へ
ドアホン：すべてのPoE HubのOUT1~4へ（OUTであればどこでもOK）



8. 取付方法　- PoE Hub -

6台以上のPoE Hubをカスケード接続する場合には、最大25台まで連結可能です。

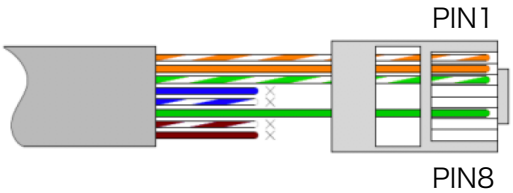


接続ルール

・PoE Hub用電源1つに対してPoE Hubは5台まで
・エントランスは1セット目の1個目のPoE HubのIN1に接続
・ゲートウェイは最終セットの最後のPoE HubのIN2に接続

【要加工】セット間のLANケーブルについて（図内ピンク色の線）

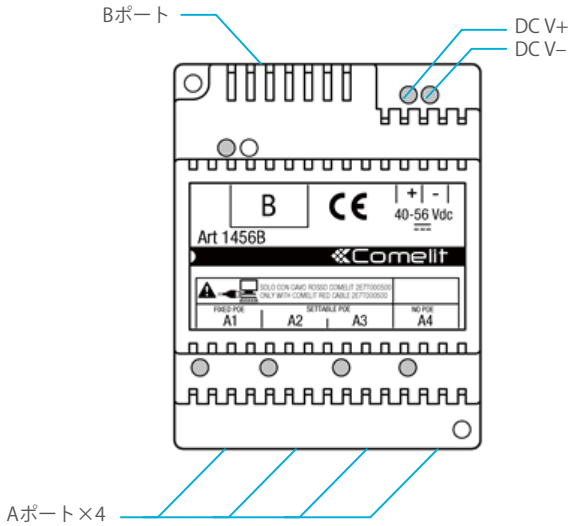
必ず電源をカットしたLANケーブルで接続すること



PIN1：RX+/橙＆白
PIN2：RX-/橙
PIN3：TX+/緑＆白
PIN4：V+/青　＜カット＞
PIN5：V+/青＆白　＜カット＞
PIN6：TX-/緑
PIN7：V-/茶＆白　＜カット＞
PIN8：V-/茶　＜カット＞

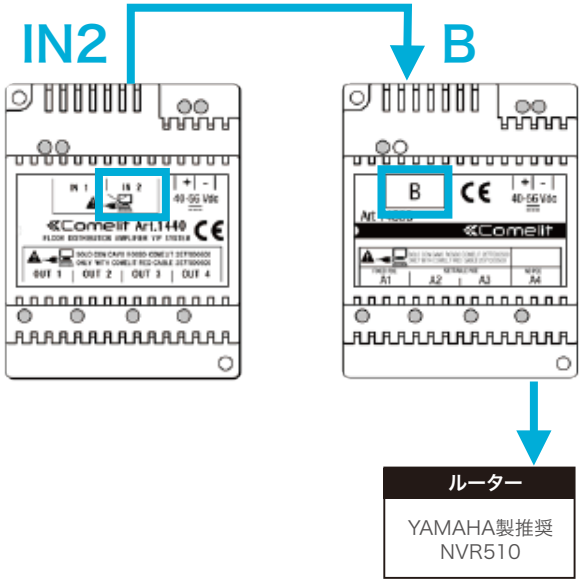
8. 取付方法　- ゲートウェイ -

① LANケーブルを接続する



接続禁止

A1/A2/A3ポートには
接続しないこと

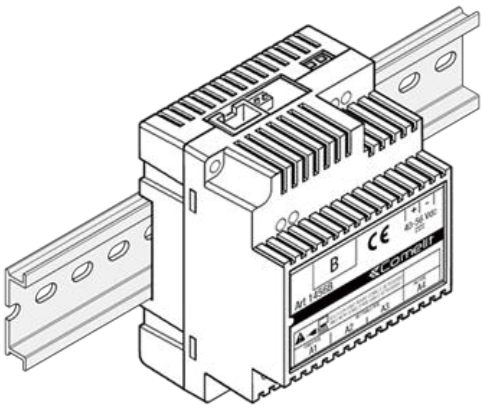


1. BポートにPoE HubのカスケードポートIN2に接続したLANケーブルを接続する

※ PoE Hubをカスケードする場合、5台目のPoE HubのカスケードポートIN2とBポートを接続する（P.25の図を参照のこと）

2. A4ポートにルーターを接続する

② 本体を固定する

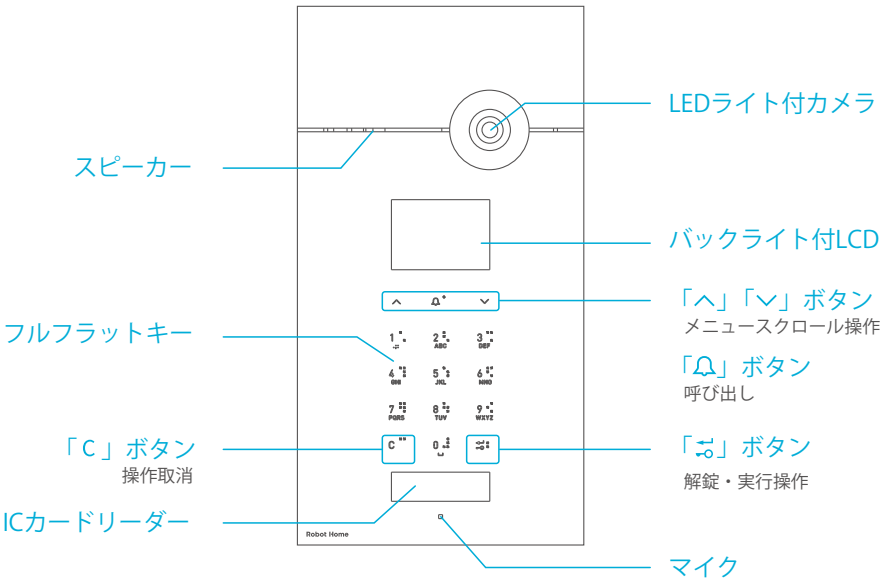


1. エントランス用電源同様、DINレールに本体を固定する

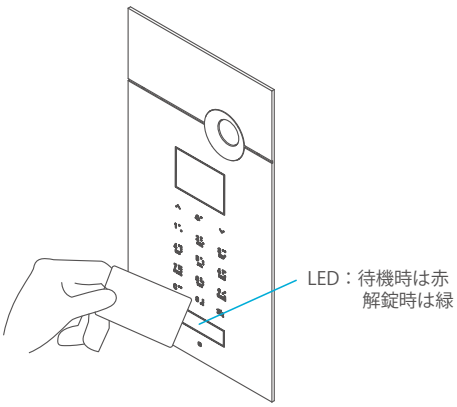
2. 本体ラベルが正視できることを確認する

9. 使用方法　- エントランス -

各部名称



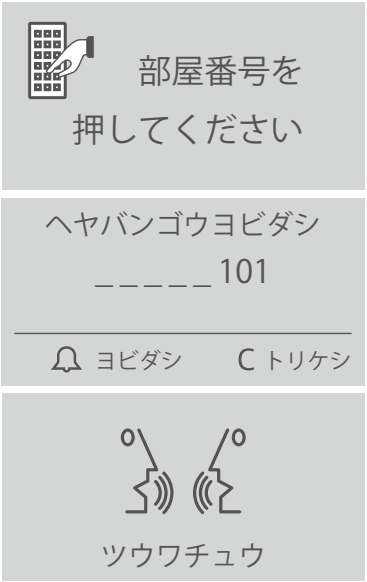
エントランスカードによる解錠



1. ICカードリーダー部に専用のエントランス
   カードをかざす

2. エントランスカードを認識すると、リーダー部
   LEDが緑色に点灯し連携しているオートロックが
   解錠する

訪問先の呼出し



1. 訪問先の部屋番号をフルフラットキーから入力する
   ※入力を間違えた場合や呼出しをキャンセルし
   たい場合はCボタンを押す

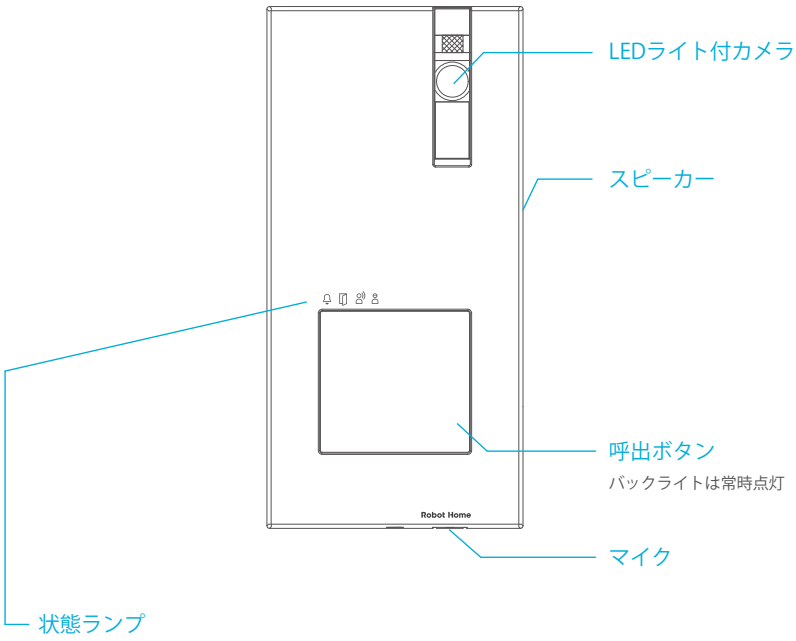
2. モニターに入力した部屋番号が表示されるので
   間違いがなければ呼び出しボタンを押す

3. 呼出し先が応答するとモニターに「ツウワチュウ」
   と表示されるので、スピーカーに向かって会話を
   開始する

4. 通話が終了すると自動的に待機状態に戻る
   エントランス側から通話を終了したい場合は
   Cボタンを押す

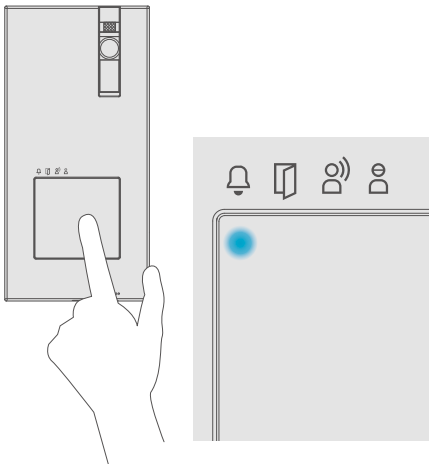
9. 使用方法　- ドアホン -

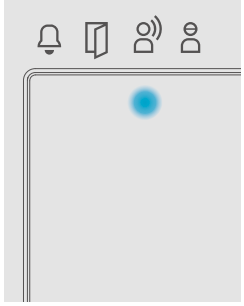
各部名称



呼出中	呼出中に点灯します
解錠	解錠中に点灯します
通話中	通話中に点灯します
呼出不可	呼出先が通話中のため、呼出しができない時に点灯します

訪問先の呼出し





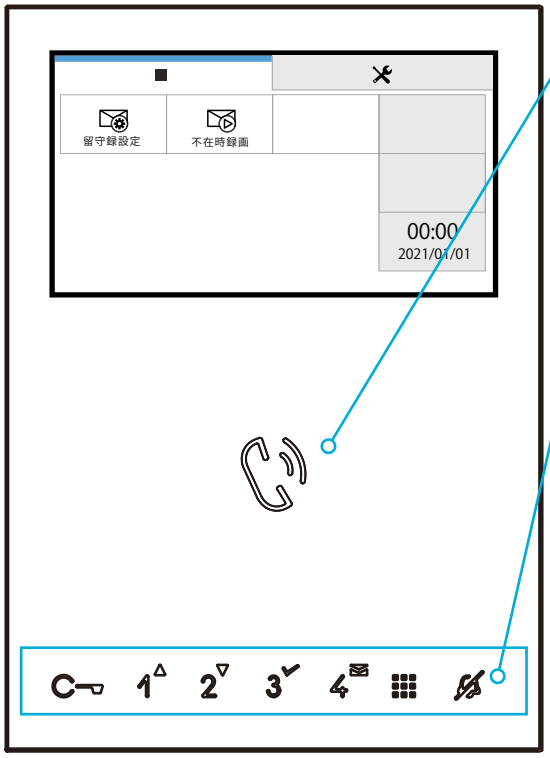
1. 呼び出しボタンを押す
   状態ランプの「呼出中」が点灯

2. 呼出し先が応答するとモ状態ランプの「通話中」が点灯するので、スピーカーに向かって会話を開始する

3. 通話が終了すると自動的に待機状態に戻る

9. 使用方法　- 室内モニター -

各部名称



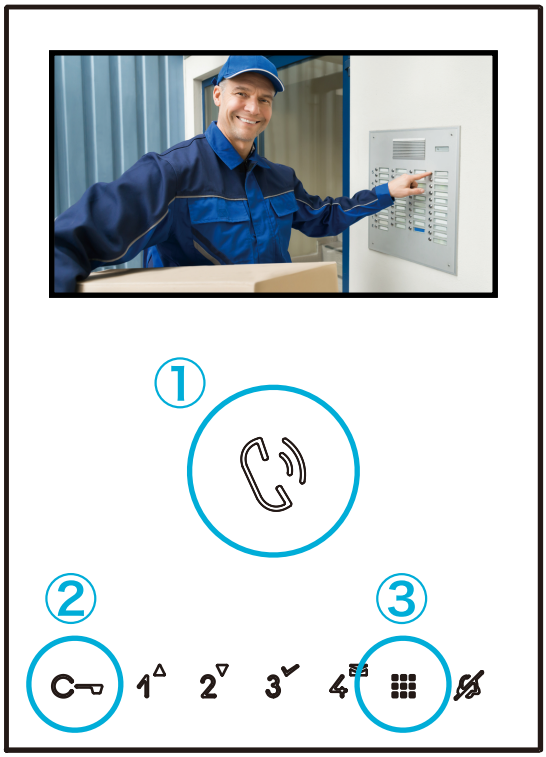
通話ボタン
呼出し時に押すと通話開始

各種ボタン

C	解錠（エントランスのみ使用可能）
1	上（メニュー選択時に使用）
2	下（メニュー選択時に使用）
3	決定（メニュー選択時に使用）
4	録画ビデオ（長押し）
	キャンセル（メニュー選択時に使用）
	呼出音ミュート（ミュート時赤点灯）

音量ボタン（3段階）
本体側面にスライド式のボタン

応答・解錠



呼出しがあると画面が表示され、「通話ボタン」と「解錠ボタン」のLEDが白く点灯する

※ ボタンはタッチすると反応する（強く押しても反応するわけではないため力加減に注意すること）

エントランスからの呼出しの場合
① 通話ボタンを押し、通話開始
② 解錠ボタンを押し、エントランスの解錠
③ 画面をすぐ消したい場合には、キャンセルボタンを押す

ドアホンからの呼出しの場合
① 通話ボタンをタッチし、通話開始
③ 画面をすぐ消したい場合には、キャンセルボタンを押す

※ 各部屋の玄関の鍵とは連携できないため通話まで

10. 動作確認

機器の設置、設定が完了したら以下の流れに沿ってシステムの動作確認を実施してください。

① 電源を入れる

・まずルーターや市販の周辺機器の電源を入れ、インターネットへ接続する
・エントランスシステムの電源を入れる
・各機器に内蔵されているLEDが点灯するので目視で確認する

② 管理サイトにログインし、機器が正常に接続されているか確認する



1. Chromeで管理サイトにログインする
※ ログイン情報はオーナー様または管理会社様から受け取ってください



2. 画面上部のボタンから画面を切り替える



3. メニューから「物件情報」を選択



4. 物件一覧の中から設置した物件を選択

エントランス・その他共用部設置機器の確認



5. 物件詳細ページの下部の「設置機器情報」を確認

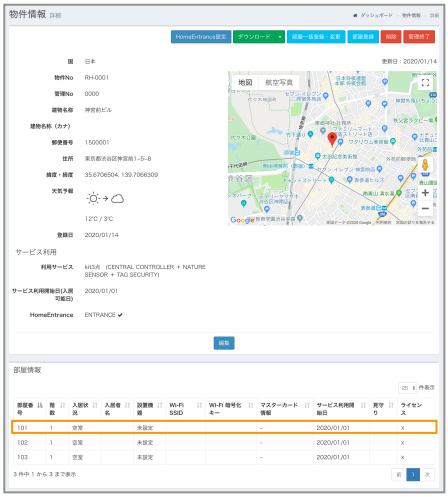
赤色：異常
緑色：正常

すべて緑色になっていればOK！

6. 赤色の場合は機器の接続が間違っていないか
ルーターの設定が間違っていないかを確認

10. 動作確認

ドアホン・室内モニター・エントランスカードの確認



7. 物件詳細ページの中央部の「部屋情報」から
   確認する部屋を選択する

   ※すべての部屋をそれぞれ確認すること



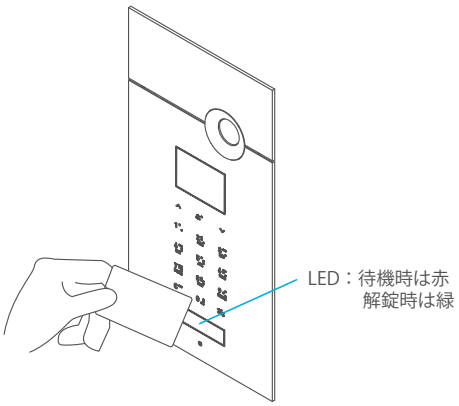
8. 部屋詳細ページの下部の「設置機器情報」を確認

   赤色：異常
   緑色：正常

   ドアホン・室内モニター
   エントランスカード（枚数分）が
   緑色になっていればOK！

9. 赤色の場合は機器の接続が間違っていないか
   ルーターの設定が間違っていないかを確認

③ エントランスカードでオートロックの解錠ができるか確認する



1. システムに登録しているすべてのエントランスカードに
   ついて、エントランスにかざすとオートロック解錠が
   できるかを確認する

2. 解錠できない場合は、
   エントランスカードが登録されているか再度確認
   ※システムに登録されているカードしか解錠できません

   または、
   オートロックとの接続が間違っていないかを確認

10. 動作確認

④ エントランスから各部屋を呼出し、映像と音質、室内モニターからのオートロック解錠ができるか確認する

エントランスの音質調整方法



1. 物件詳細ページの下部「設置機器情報」にある
   エントランスの「音量設定」を選択



2. ボイス、マイク、エコーキャンセルを調整して
   適切な音質に合わせる

   ※更新ボタンを押すとネットワーク経由で設定が反映
   されますのですぐ変更結果を確認可能です

⑤ ドアホンから各部屋を呼出し、映像と音質を確認する

ドアホンの音質調整方法



1. 部屋詳細ページの下部「設置機器情報」にある
   ドアホンの「設定」を選択



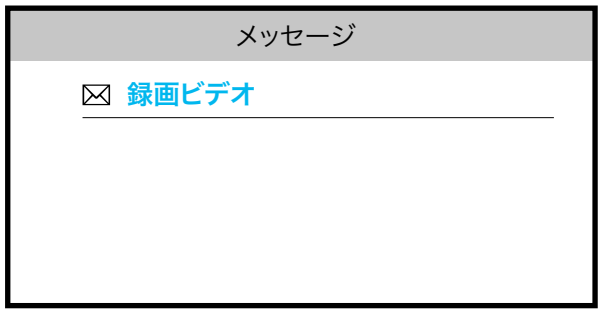
2. ボイス、マイク、エコーキャンセルを調整して
   適切な音質に合わせる

   ※更新ボタンを押すとネットワーク経由で設定が反映
   されますのですぐ変更結果を確認可能です

11. 訪問履歴の削除

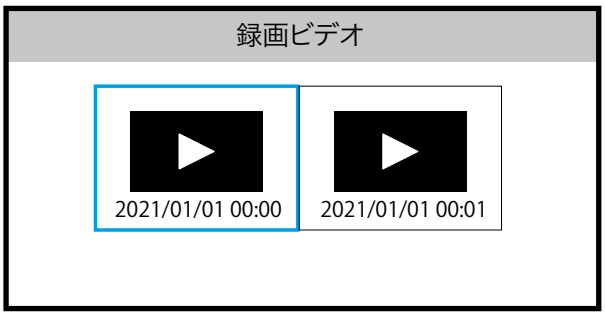
室内モニターには訪問時の動画履歴が残ります。動作確認終了後、必ず訪問履歴の削除を実施してください。

録画ビデオの確認・削除



1. 録画ビデオボタン（ 4 ）を3秒以上長押しし、メッセージメニューを表示する

2. 「録画ビデオ」が選択されているので、決定ボタン（ 3 ）を押してビデオ一覧を表示する



3. 視聴するビデオを（ 1 ）または（ 2 ）で選択し、決定ボタン（ 3 ）で再生する

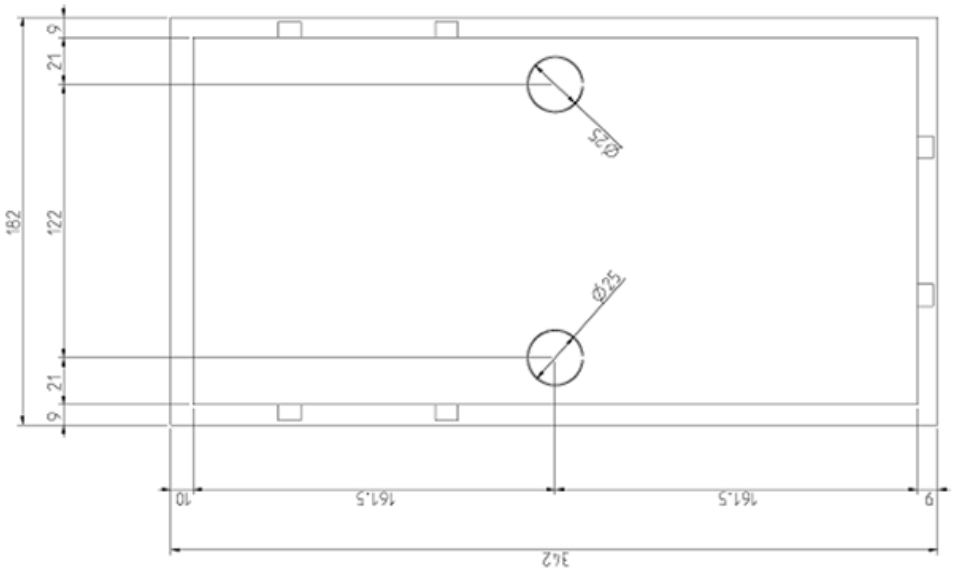
4. 選択したビデオを削除する場合には、決定ボタン（ 3 ）を長押しする

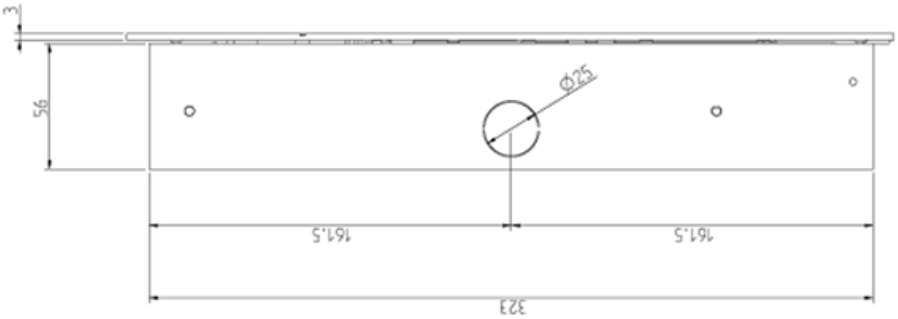
必ずやること

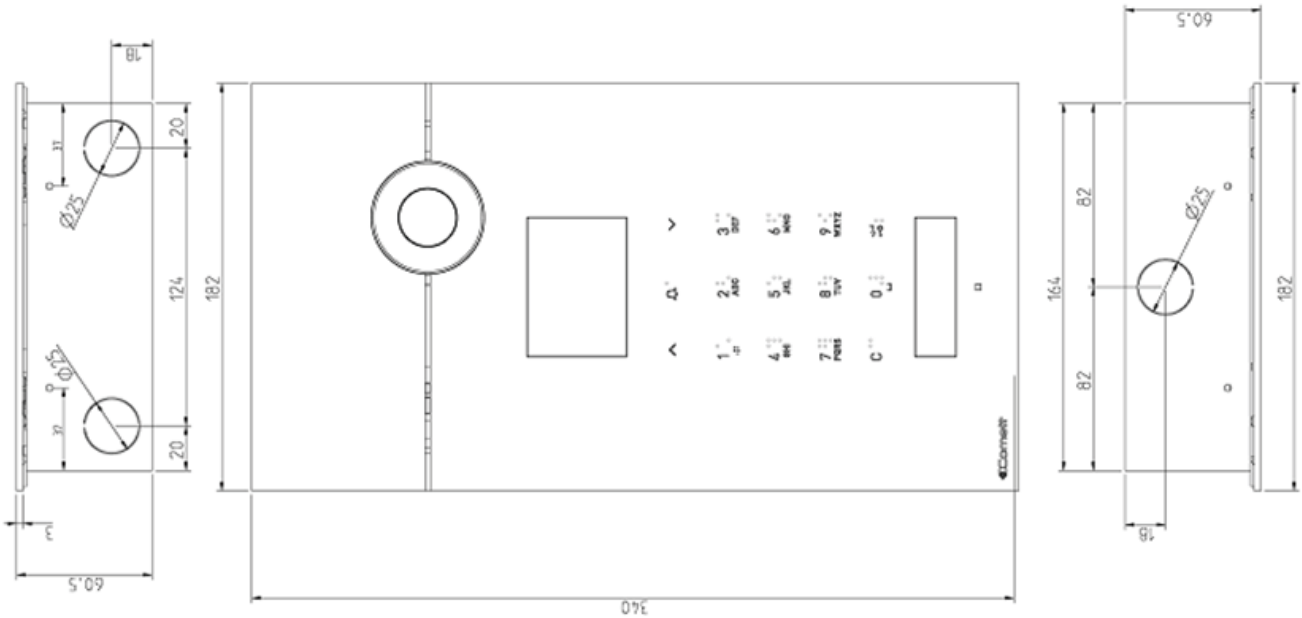
確実に、全部屋の室内モニターの履歴を削除すること

入居される方が気持ちよく使い始められるよう
ご協力をお願いいたします。

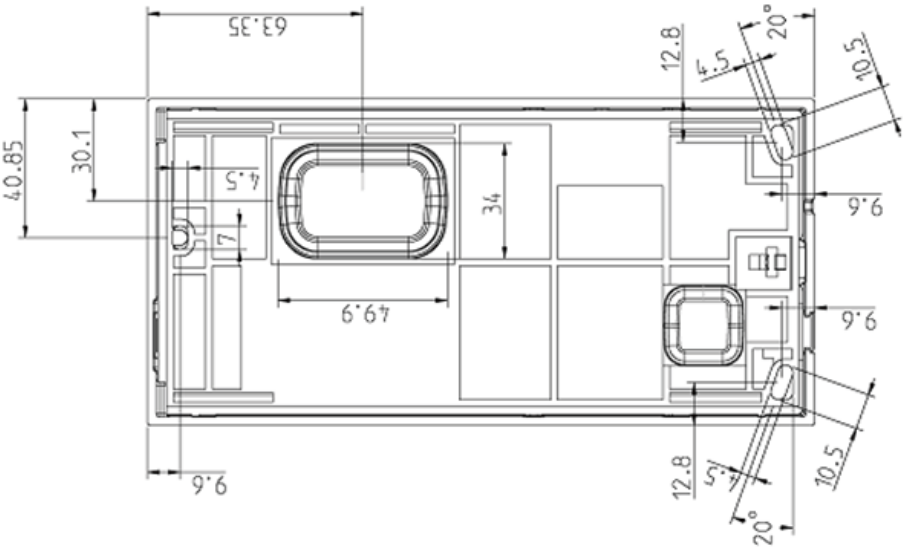
12. 図面　- エントランス -


9
21
122
182
21
9
Ø25
Ø25
10
161.5
161.5
9
342

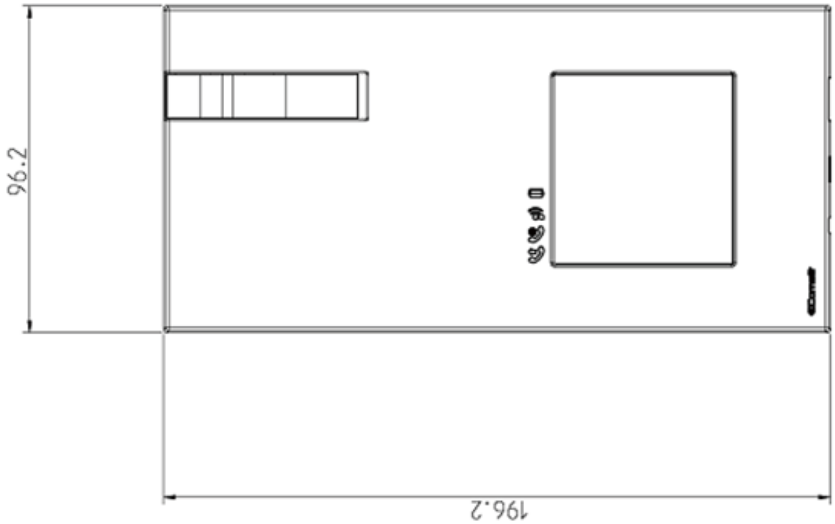

3
56
Ø25
161.5
161.5
323


18
20
31
9
Ø25
124
9
Ø25
31
20
3
60.5
182
340
60.5
82
82
164
Ø25
182
18

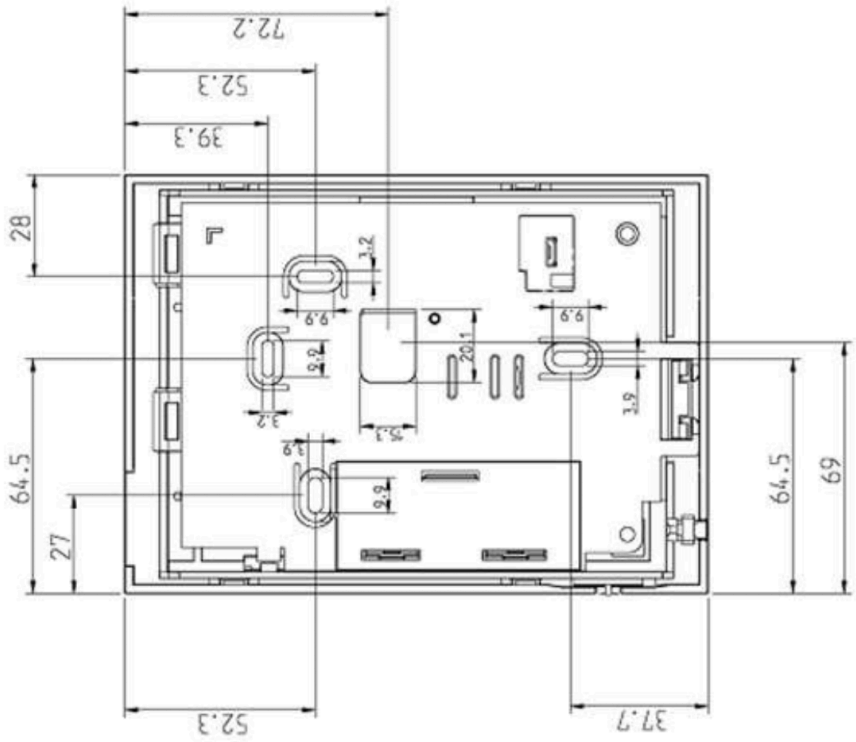
12. 図面　- ドアホン -


63.35
40.85
30.1
4.5
7
34
49.9
9.6
12.8
4.5
20°
10.5
9.6
9.6
12.8
4.5
10.5
20°

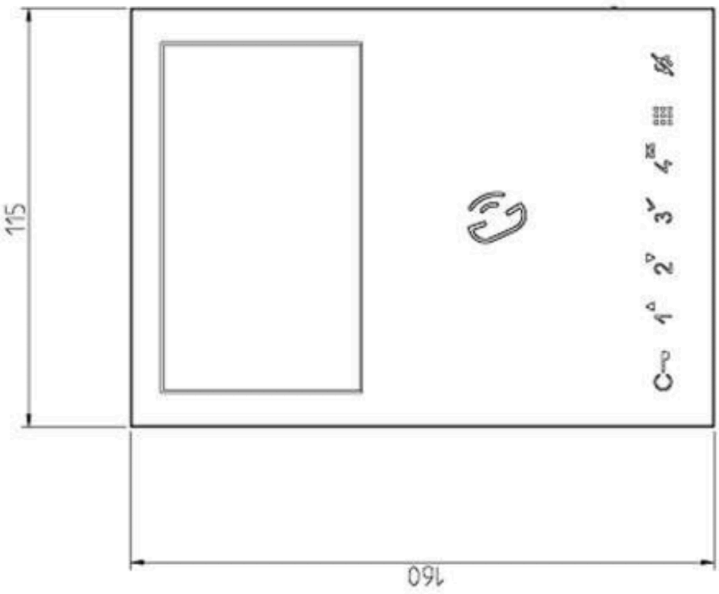

26.8


96.2
196.2

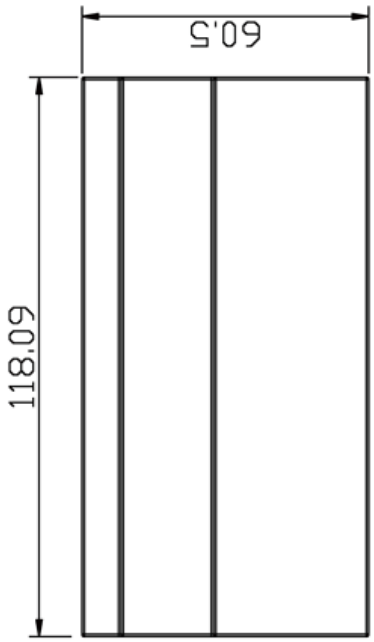
12. 図面　- 室内モニター -

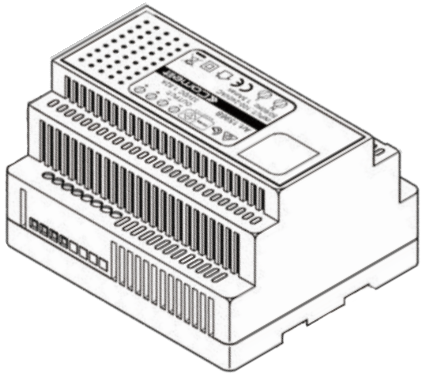


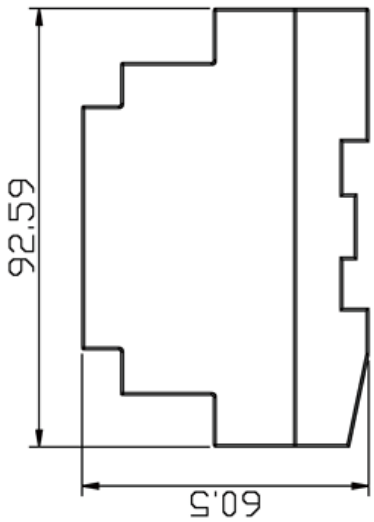




12. 図面　- エントランス用電源 -

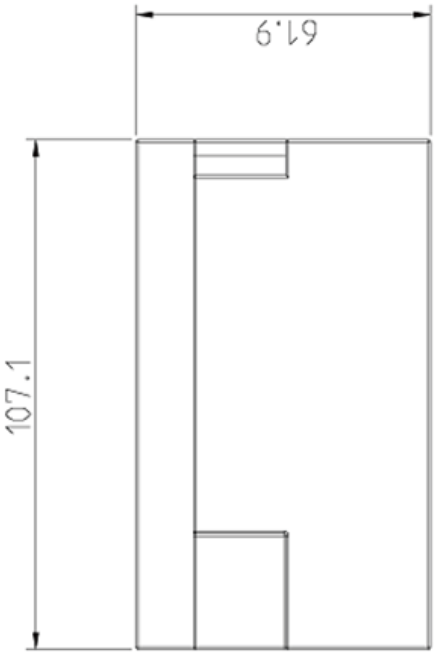


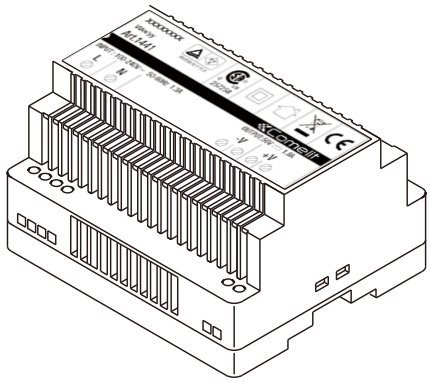


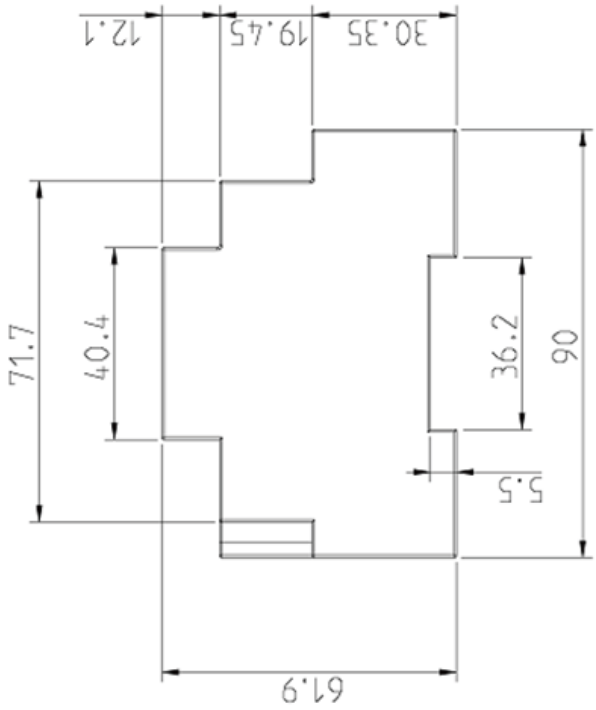


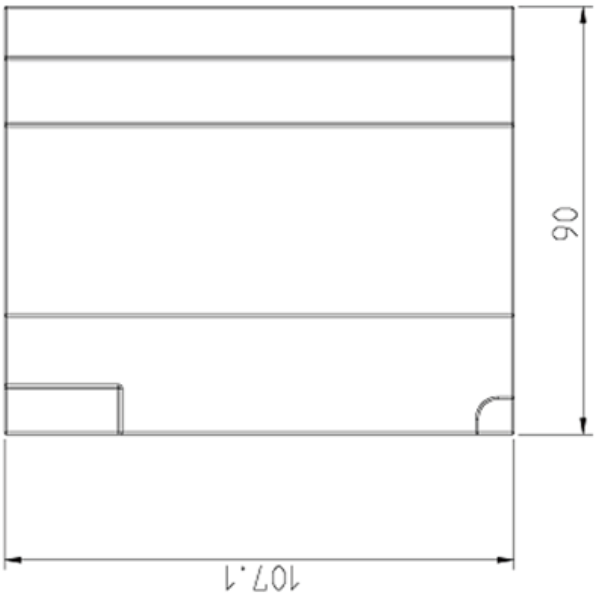


12. 図面　- PoE Hub用電源 -

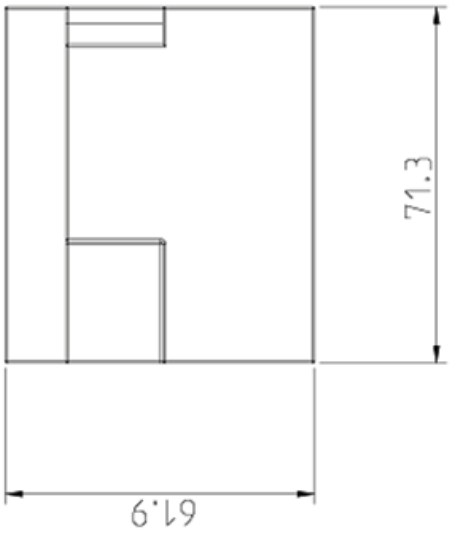


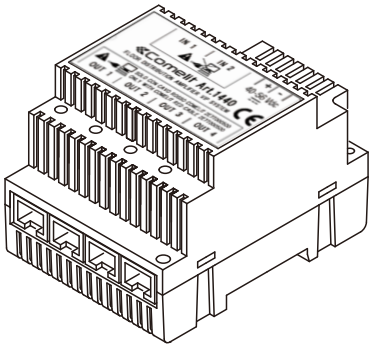


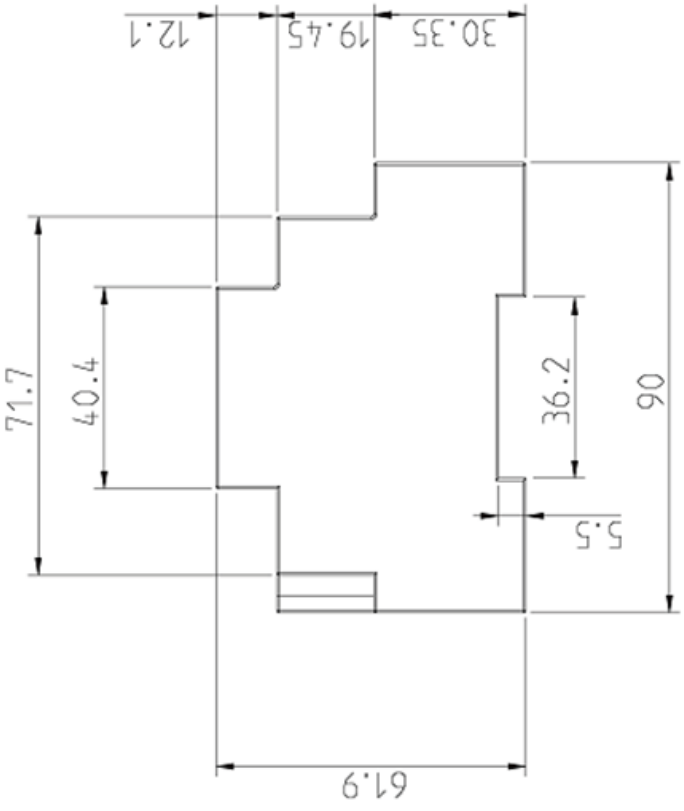


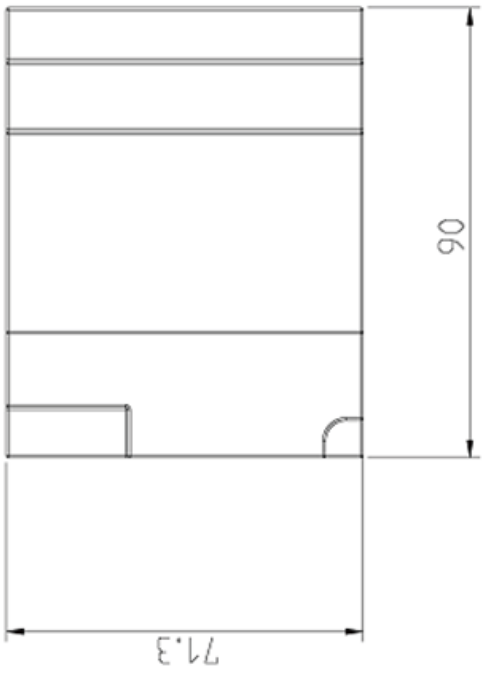


12. 図面　- PoE Hub -









12. 図面　- ゲートウェイ-

